安息日聖書教科

真の改革一当時と今

Vol. 92, No.1
2016 年 1 月 -3 月

目次

真の改革	5
いにしえの改革者	10
改革のために働く	15
第二のエリヤ	20
ヨハネのメッセージ	25
もう一人のエリヤ	31
どこで改革が始まるか	36
家庭における改革	41
ラオデキヤへのメッセージ	46
初期の信心のリバイバル	52
わたしたちのメッセージ	57
回復の働き	62
教会の召し	67

セブンスデーアドベンチスト改革運動世界総会安息日学校部(P.O.Box 7240 Roanoke,Virginia 24019-0240,U.S.A)

安息日聖書教科 Vol.92,No.1

編集＆発行：
ＳＤＡ改革運動日本ミッション

〒368－0071
埼玉県秩父郡横瀬町芦ケ久保1607－1

TEL：(0494) 22-0465

FAX：(0494) 40-1045

URL：
http//www.4angels.jp

E-mail:
support@4angels.jp

イラスト：Illustrations: Getty Images on the front cover and Map Resources on pp. 4, 51, 72; Design Pics on pp. 25, 72.

安息日聖書教科は、他のコメントをいっさい加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。引用文は、簡潔で直接的な見解を提供するために、可能なかぎり短くされています。ある部分では、明瞭さや、適切な前後関係、また読みやすさのために〔　〕の括弧が使われています。抜粋されている原文をさらに研究することをぜひともお勧めします。

Printed in Japan

まえがき

今日、かつてなかったほど、世は絶えざる変化のうちにあるようです。ストレスから逃れようと心底求め、人の苦しみや苦悩のために、政府の政策や法律、制度また態度の改革が求められています。しかし、歴史はそのような要求は、自己利益や制限に足を引っ張られて失敗するか、意図した目的にはるか及ばないかのいずれかであることを証明しています。

真の改革は外面的な手段がなすよりもっと深く及びます。それは個々人から始まります。それは全人格を包含する内部の変化、それからその人の人生の全ての局面を含みます。このような種類の改革はただ神だけがなし遂げることがおできになります。つまり霊的な改革です。しかし、このような改革が成し遂げられるためには、人がまず自分の改革の必要を自覚しなければなりません。この働きを神は、真の改革者たち―心を尽くして、このお方と共に、自らのうちに、また自分が奉仕している人々のうちに真の改革をもたらす事に従事する男女―に委ねておられます。

聖書はこのような改革者たちの例に満ちています。それぞれの時代で顕著であった二人の改革者は、エリヤとバプテスマのヨハネでした。エリヤは恐れることなく神の民の罪を譴責し、彼らに神の側に立つよう呼び求めました。ヨハネはキリストの初臨のために準備するべく召されました。彼の生涯も、エリヤの生涯同様、彼の周囲の浪費にとって譴責でした。彼の教えは心に届きました。

神の民だと公言する者として、今日わたしたちは世とは異なる生活様式を掲げ、生活を変えるメッセージを教えるように召されています。わたしたちはキリストの再臨のための道を備えなくてはなりません。神は教会に行動を起こすようメッセージを与えてこられました。それは教会が世のためのこのお方のメッセージを伝える際に忠実であることができるためです。

「わたしたちの全ての諸教会のうちに徹底的な改革が必要とされている。神の改心させる力が教会の中に及ばなければならない。主をこの上なく熱心に求めなさい。あなたの罪を捨てなさい。上より力が授けられるまでエルサレムにとどまっていなさい。神があなたを働きのために区別してくださるように。真理に従うことによって、あなたの魂を清めなさい。行いのない信仰は死んだものである。準備の日を遅らせてはならない。準備ができていない状態、すなわちあなたのともし火のうちに油がない状態でまどろんではならない。だれ一人として永遠のための自分の安全を不確かなまま保留しておいてはならない。危険な不確かさのうちに疑問を残しておかないようにしなさい。真剣に自問しなさい、わたしは救われた者のうちにいるのであろうか、それとも救われない者のうちにいるのであろうか。わたしは耐えられるであろうか、それとも耐えられないであろうか。その日には手が清く、心の純潔な者だけが耐えるのである」(牧師への証 443)。

神はわたしたちが個人としてまた教会としてこの働きを受け入れることを望んでおられます。このお方はわたしたちが自分の生活を、自分の家族を、そして自分たちの諸教会を改革するよう望んでおられます。無関心という眠りから目覚めようではありませんか。献身と悔い改めを持って前進し、わたしたちの前にある働きに取り掛かりましょう。改革の働きが前進するとき、神は力強く働かれ、終わりの警告にご自分の力を加えてくださいます。この最終的な改革運動で役割を果たし、それによって主の来臨を早めることができますように。　　世界総会安息日学校支部

安息日 2016 年 1 月 2 日

第一安息日学校献金
ガーナの教会のために

ガーナは西アフリカに位置する国で、北はブルキナファソに、東はトゴに、西はコートジボワールに面しています。人口はおよそ 2700 万人で主な宗教はイスラム教（18%）とキリスト教（70%）で、キリスト教はその中でペンテコステ、プロテスタント、ローマ・カトリック及びそのほか様々な宗派に分かれています。改革のメッセージがガーナにもたらされたのは 1990 年代でした。働きは首都のアクラから始まり、そこから国内の他の場所へ広まっていきました。国では宗教の自由が認められ、わたしたちのメッセージの前進を大いに容易にしています。わたしたちの教会組織が政府に正式に登録され、認められていることを神に感謝します。

しかしながら、働きの進展と福音のメッセージを宣布する自由があるにもかかわらず、ここにいるわたしたちの教会員には自分たちのものだと呼べる礼拝の家がありません。アクラで兄弟姉妹たちは安息日の集会を、み摂理のうちに賃貸している場所におかれた木の下で行っています。残念なことに雨が降ると、礼拝するための渇いた場所がなくなり、これがしばしばわたしたちのメッセージに関心を持つ求道者を失望させています。働きを支えるための適切な場所がなくても、わたしたちの兄弟姉妹たちは伝道活動を行うよう励まされ、チラシを配ったり、聖書研究を行うグループを組織したりしています。わたしたちには今バプテスマクラスに出席する 50 名を超える求道者がおり、皆さんがこれを読まれる頃には、彼らが主と契約を結び、バプテスマによって教会員となっていることを願っています。

「過ちを犯されたことのないわたしたちの将は、わたしたちに前進せよ、と言われる。新しい領域に入りなさい。全ての場所に旗印を上げ、記念碑を建てなさい。神が人類全てに拘束力を持つご自分の律法を忘れていない民を地上に持っておられることを知らせなさい。全ての教会に、第一日ではなく、第七日が安息日であることを知らない人々がいる。彼らは現代の真理のメッセージを聞かなければならない」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1902 年 8 月 5 日）。

世界中の全ての兄弟姉妹の皆さんに、アクラの住民のための記念碑となり、雨季でも妨げられることなく定期的に礼拝のための集会を持つことのできる教会が設立されるように、祈りと資金をもってこの事業を支援してくださるようお願いいたします。

アフリカ地区書記

真の改革

「古く（世の初め）から、〔主なる神が〕聖なる預言者たちの口によってお語りになったように」（ルカ 1:70）

「わたしたちは心の目的を定めて主に向き直ることによって改革の働きを始めなければならない。それは心がやわらげられ、キリストがあなたをご自身の神聖なみかたちにしたがってかたどり、形成することができるためである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1892 年 2 月 22 日）

推奨文献：ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1904 年 10 月 12 日

日曜日　*12 月 27 日*

1.　真の改革の基礎

a.　真の改革と偽りの改革をどのように区別することができますか（イザヤ 8:20; ピリピ 3:9）。

「社会の安全と改革の進展は、基礎となる真理の明確化と認識にかかっている。神の律法の諸原則が神ご自身のご品性と同様に永遠に不変なものとして民の前に保たれていなければならない。律法は行動の規則として明示されている。……社会の益と人の安全のためには、律法が尊ばれなければならない。全ての啓発された律法は、シナイ山で与えられたエホバの律法に基づいている。」（健康改革者 1878 年 8 月 1 日）

「すべて真の改革は、福音事業の中で重要な位置を占め、人間を新しい、さらにすぐれた高尚な生活へと向上させるものである。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 146）

b.　わたしたちはだれに信頼をおくべきですか（詩篇 118:8; 箴言 3:5）。

「わたしたちが人生においてどの立場を占めようとも、わたしたちの仕事が何であろうとも、わたしたちは助けの必要を感じるほど十分に謙遜でなければならない。わたしたちは絶対的に神の御言葉の教えにより頼み、万事におけるこのお方の摂理を認め、自分たちの魂を祈りのうちに注ぎだすのに忠実でなければならない。」（教会への証 5 巻 427）

2. 真の改革は心から始まる

a. 改革の前触れは何ですか（ヨエル 2:12, 13; 詩篇 51:10; コリント第二 7:11）。

「クリスチャンだと公言する多くの人に対して責められている罪、甚大な罪がある。偉大な嘆願者は次のように言われる、人の心に対するわが要求は無視されてきた。神は悔い改めを、また改革を求めておられる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1896 年 12 月 8 日）

「悔い改めとは罪を悲しむことと罪を離れることを含む。」（キリストへの道 22）

「まじめな悔い改めと改革が伴わない告白は、神に受け入れられることはできない。はっきりとした変化が生活にあらわれ、神の嫌われるすべてのものを捨てねばならない。ほんとうに罪を嘆いた結果はそうなる。わたしたちのなすべきことは、はっきりと示されている。『あなたがたは身を洗って、清くなり、わたしの目の前からあなたがたの悪い行いを除き、悪を行うことをやめ、善を行うことをならい、公平を求め、しえたげる者を戒め、みなしごを正しく守り、寡婦の訴えを弁護せよ』（イザヤ書 1:16, 17）。『すなわちその悪人が質物を返し、奪った物をもどし、命の定めに歩み、悪を行わないならば、彼は必ず生きる。決して死なない』（エゼキエル書 33:15）と。またパウロは、悔い改めについて『見よ、神のみこころに添うたその悲しみが、どんなにか熱情をあなたがたに起させたことか。また、弁明、義憤、恐れ、愛慕、熱意、それから処罰に至らせたことか。あなたがたはあの問題については、すべての点において潔白であることを証明したのである』（コリント第二 7:11）」と言った。」（同上 48, 49）

b. ペンテコステの時のどの切なる叫びが、大きい個人的な必要を認めましたか（使徒行伝 2:37, 38）。

「人はどのようであったら神の前に正しいと言えるだろうか。罪人はどうすれば義とされるであろうか。わたしたちはただキリストによってのみ神と一致し、きよくなることができる。それではどうすればキリストに行くことができるだろうか。ペンテコステの日に群衆が罪を悟って、『わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか』と叫んだように、今日、多くの人々は 同じ質問をしている。ペテロは、『悔い改めなさい』（使徒行伝 2:37, 38）と言い、またそのすぐ後で『自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい』（使徒行伝 3:19）と言っている。」（同上 22）

3. 真の改革の実

a. 終わりの時代の改革者は、どのように描写されていますか（イザヤ 58:12, 13）。

「〔イザヤ 58:8, 9, 12–14 引用〕。ここに改革者となるべき人々、すなわち第三天使の旗印を掲げ、神の戒めを守る民であることを公然と認め、神を尊び、全宇宙の目の前で、久しく荒れすたれたる所を興す事に真剣に携わる人々の特徴があげられている。彼らを破れを繕う者、市街を繕って住むべき所となす者』と呼ぶのはだれであろうか。それは神である。彼らの名は天に改革者、回復者、多くの世代の基礎を興す者として登録されている。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1891 年 10 月 13 日）

b. 改革のどのような具体的な証拠が、生活で見られるようになりますか（マタイ 3:8）。

「品行を改めた生活―悔い改めにふさわしい実―に満たないものは神のご要求に応えるものとならない。そのような実がなければ、わたしたちの信仰の告白には価値がない。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1887 年 7 月 7 日）

「改革を伴わない悔い改めは、真正なものではない。キリストの義は、告白されてもいなければ捨てられてもいない罪をおおう外衣ではない。それは品性を一変し、行為を規制する生活原則である。聖潔とは神のために完全になることである。それは内住する天の原則に対して心と生活をまったく屈服させることである。」（各時代の希望中巻 377）

「ヨハネは友人や生活の贅沢から自らを分離した。らくだの毛皮で作られた上着という彼の衣服の単純さはユダヤ人の祭司や一般大衆の浪費や虚栄に対する不断の譴責であった。イナゴマメと野蜜という純粋な植物性の彼の食事は、いたるところに蔓延していた食欲の放縦や暴飲暴食に対する譴責であった。……キリストの再臨のために道を備える人々は、ヨハネがエリヤの霊をもってキリストの初臨のために道を備えるために来たように、忠実なエリヤとして表されている。改革という偉大な主題が熱心に論じられなければならない。……その偶像礼拝、暴飲暴食、衣服やそのほかの事柄における浪費から神の民を向き直らせるために、万事における節制がメッセージと結び付けられなければならない。……

食事や衣服の問題における道徳的な義務を犯す人はだれでも、永遠の利益に関わる神のご要求を犯す道を備えているのである。」（教会への証 3 巻 62, 63）

4. 改革の旗印—真理と自由

a. 何が改革を必要としているかを、どのような手段によってわたしは悟るでしょうか（詩篇 119:142; ヨハネ 17:17; 14:6）。

「主はご自分のみ名を告白する全ての人に、厳密に真理に付き従うことを要求なさる。これは味を失っていない塩のように、道徳的な闇と世の欺瞞のただ中の光のようになる。」（教会への証 4 巻 356）

「わたしたちがこの時代に掲げるべき原則は、偉大な改革において福音を固守した人々によって維持されたものと同じである。……

これらの改革者たちが高く掲げた真理と宗教的自由の旗印は、この終わりの争闘においてわたしたちに委ねられてきた。この大いなる賜物についての責任は、神のみ言葉の知識を持って祝福されてきた人々にある。わたしたちは神のみ言葉を最も権威あるものとして受け入れなければならない。わたしたちは真理を自分で受け入れなければならない。そしてこれらの真理を感謝することができるのは、それを個人的な研究によって探り出した時だけである。……言動において真理を認めることこそ、わたしたちの信仰の告白である。こうしてのみ、他の人々はわたしたちが聖書を信じていることを知ることができるのである。」（同上 6 巻 402, 403）

b. そうであれば、自由、聖化、そして神の律法の間の関係は何ですか（詩篇 119:44, 45; ヤコブ 1:25; ヨハネ 8:31, 32）。

「わたしたちの天におられる御父のみ旨に対する完全な服従だけが聖化である。そして神のみ旨は、神の聖なる律法の中に表現されている。神の全ての戒めを守ることが聖化である。自らが神のみ言葉に対する従順な子であることを実証することが聖化である。人の意見や見解ではなく、神のみ言葉がわたしたちの案内役となるべきである。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 3 巻 204）

「偽ものの聖化は真っ向から聖書より遠ざける。宗教はおとぎ話にまで引き下げられている。感情と印象が標準とされている。聖化の要求者たちは自分たちに罪がないと公言し、自分たちの義を誇りながら、人には神の律法を犯す自由があり、その規則に従う人々は恵みからもれていると教える。律法の要求を提示すると、彼らの反対を引き起こし、怒りと軽蔑をかきたてる。こうして彼らの品性が現れる。なぜなら、「肉の思いは神に敵するからである。すなわち、それは神の律法に従わず、否、従い得ない」からである（ローマ 8:7）。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1886 年 10 月 5 日）

木曜日　*12月31日*

5.　　個々人の改革

a.　わたしはどのようにして改革することができますか（ローマ 1:16; テモテ第二 3:15）。

「神聖な力から離れては、本物の改革をもたらすことはできない。先天的また後天的傾向に対する人間の防壁は、激流に対する砂洲のようなものである。キリストの命がわたしたちの生活における活力とならない限り、わたしたちは内外から攻撃する誘惑に抵抗することはできない。」(ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1914 年 12 月 1 日)

「キリスト教は心を改革しようとするものである。キリストの内なる働きが、改心した知性の指示の下で外に実行されるのである。外から始めて中に向かってする努力は、いつも失敗に終わるであろう。神のあなたに関する計画はすべての問題の一大中心である心から始めることであって、そうするならば、正しい原則が心の中から出てくるようになり、改革は内にも外にも向かって行われるのである。」（食事と食物に関する勧告 31, 32）

b.　わたしはどのようにして実際的な改革者になることができますか（ガラテヤ 6:9, 10; ヨハネ第一 1:3）。

「『わたしを尊ぶ者を、わたしは尊』ぶ（サムエル上 2:30）。そのような家庭から父親が自分の日々の義務のために出て行くとき、精神は神との交わりによってやわらげられ、制せられている。彼は、告白においてだけでなく、自分の取引や、すべての仕事関係においてクリスチャンである。彼は神の御目が自分の上にあることを知って、自分の働きを忠実に行う。

教会において彼の声は黙っていない。彼には述べるべき感謝と励ましの言葉がある。なぜなら、彼は成長するクリスチャンであり、毎日新しい経験があるからである。彼は教会において助けとなる実際的な働き人であり、神の栄光の同胞の救いのために労するのである。」（教会への証 5 巻 424, 425）

金曜日　*1月1日*

個人的な復習問題

1.　真の改革は信徒の生活においてなにを成し遂げますか。
2.　悔い改めはどのように改革と両輪で進みますか。
3.　全ての人はどの分野において改革の必要がありますか。
4.　わたしたちは道徳的な闇のただ中でどのように光となることができますか。
5.　わたしたちはいつ自分たちの生活において本物の改革がありますか。

いにしえの改革者

「ギレアデのテシベに住むテシベびとエリヤはアハブに言った、『わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。わたしの言葉のないうちは、数年雨も露もないでしょう』。」（列王記上 17:1）

「テシベびとエリヤは、有名な都市から遠く離れて住み、高い地位を占めてはいなかったけれども、神が彼の前に道を備えて、豊かな成功をお与えになることを確信して、仕事に着手したのである。」(国と指導者上巻 87)

推奨文献：国と指導者上巻 87–96

日曜日　*1月3日*

1.　エリヤの出身と召し

a.　エリヤとはだれでしたか。また彼はどのような種類の人でしたか（列王記上 17:1; ヤコブ 5:17）。

「エリヤは……ヨルダンの東側ギレアデの山中に生まれ、アモリ人の忌むべきことが広まっている国の出身であった。しかし、彼は自分の唇に信仰と力の言葉をもって自分の仕事に取り掛かり、彼の全生涯は改革の働きに捧げられた。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1913 年 8 月 14 日）

b.　神はしばしばどのような種類の人をやりすごし、その代わりにだれを召されますか（コリント第一 1:26–28）。

「生活の平凡な歩みの中で、自分の潜在的な力に気づかず、自分の日々の仕事のくり返しを忍耐強く行いながら骨を折っている人々が多くいる。もしその能力が行動へと目覚めさせられるなら、その人を世の偉大な指導者たちの中に置くことであろう。熟練した手がこれらの眠っている機能を目覚めさせ、発達させるために必要とされている。イエスがご自身に結び付けられるのはこのような人々である。このお方は彼らにご自身の保護の下での三年間の訓練という利点をお与えになった。ラビの学校や哲学の世界における研究過程は価値において比べものにならなかった。」（両親、教師、そして生徒への勧告 511）

2. 背教に直面する

a. なぜ、エリヤはイスラエルの背教に対する公の譴責を与えるために、王宮へ入ったのですか（ヨハネ 16:8; 3:20; テモテ第一 5:20）。

「天からの刑罰の言葉をアハブに伝える任務が、エリヤに負わせられた。彼は主の使命者になることを求めたのではなかった。主の言葉が彼に臨んだのである。彼は神の働きの栄誉のために熱心だったので、従うことは悪王の手にかかって、速やかに殺されることを招くようなものであったが、神の召しに従うことをためらわなかった。預言者はただちに出発して、夜も昼も旅をして、ついに、サマリヤに到着した。彼は、宮殿において、入場の許可を求めもしなければ、彼が来たことが知らされるのも待たなかった。彼は、当時の預言者たちが着ていた荒布の衣を着て、だれにも気づかれずに護衛兵たちを通りすぎ、あっという間に王の前に立って、彼を驚かせた。

エリヤは、彼の突然の出現に対して、なんの弁明もしなかった。イスラエルの王ではなくて、創造主が、彼に語ることをお命じになったのである。そして、彼は手を天に向けて、生ける神に誓って厳粛に、今や至高者であられる神の刑罰がイスラエルに降ろうとしていることを断言した。『わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。わたしの言葉のないうちは、数年雨も露もないでしょう」と彼は宣言した（列王紀上 17:1）。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1913 年 8 月 14 日）

b. エリヤは後に、何の目的で王を譴責しましたか（列王記上 18:17, 18; ヨブ 17:8）。

「災難を彼らの上にもたらしたのは、アハブとその民の側の神の律法の無視であった。そしてエリヤは有罪の王に真実をあますことなく宣言するのをためらわなかった。世界は王宮でも一般階級の中でもへつらいを言う者と偽善者で満ちていた。しかし、エリヤが表したような勇気を持っている人は何と少ないことであろう。すなわち、地の偉人たちに反対して、破られた神の律法を擁護するために立つ人は何と少ないことであろう。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1884 年 12 月 18 日）

「主は、滅ぼすことではなくて、救おうと努めておられる。主は罪人を救うことを喜ばれる。『わたしは生きている。わたしは悪人の死を喜ばない』（エゼキエル書 33:11）。……神は、お選びになった使命者に、聖なる大胆さをお与えになる。それは、聞く人々が恐れを抱いて、悔い改めに至るためである。」（国と指導者上巻 76）

3. 選ぶようにとの召し

a. 彼がカルメル山にいたとき、改革を求めるエリヤの挑戦的な問いかけは何でしたか（列王記上 18:21）。

「エリヤは、全般的な背教のただ中で、自分が天の神に仕える者であるという事実をかくそうとしなかった。バアルの預言者たちは 450 人を数え、その祭司たちが 400 人、その礼拝者たちは幾千といた。しかしなお、エリヤは自分が人気のある側にいるかのように見せようともしなかった。彼は堂々と一人で立った。……今日のエリヤはどこにいるであろうか?……

臆病や、自分たちが神の戒めを守る民であることを知られることを恐れることによって得られるものは何もない。あたかも自分の信仰を恥じているかのように、自分たちの光をかくすことは、結果として災難をもたらすだけである。神はわたしたち自身の弱さのままにわたしたちを捨ておかれる。主がわたしたちを召される場所がどこであっても光を輝かせることを拒むことを主が禁じられるように。もしわたしたちがあえて自分たちで出ていき、自分たち自身の考え、自分たち自身の計画に従って、イエスを後ろに残すならば、不屈の精神、勇気、あるいは霊的な強さを得ることは期待するに及ばない。神は道徳的英雄を持っておられたし、今も持っておられる。すなわち神の特別な民であることを恥としない人々である。彼らの意志と計画は皆、神の律法に従属している。イエスの愛は、彼らが自分の命を自分にとって大事なものだとみなさないよう導いてきた。……『神への忠誠』が彼らのモットーである。」（教会への証 5 巻 526–528）

b. エリヤは改革の働きにおける第一歩として何をしましたか（列王記上 18:30）。

「欺瞞と無知とが暗雲のようにイスラエルをおおってしまったのである。すべての者が、一時にこうした致命的背信に陥ったのではなかったが、主が警告と譴責の言葉を彼らに送られたときに、それに心を留めないことが度重なるうちに、徐々にそうなったのである。義を行うことを離れ悔い改めを拒否する度に、彼らの罪は深まり彼らを天から遠く引き離した。そして今、この危機において彼らは、頑強に神のために立つことを拒んだ。

主は神の働きの危機における無関心と不忠実を憎まれる。全宇宙は善悪の大争闘の最後の場面を、言葉では表現することができない深い関心をもって眺めている。神の民は永遠の世界の境界に近づいている。彼らにとって天の神に忠誠であることより重大なことがほかにあろうか。」（国と指導者上巻 115）

4. 現された神の力

a. 過去から幾人かの改革者の名を挙げなさい（ルカ 1:17; 創世記 32:28; 出エジプト記 9:16）。彼らはどのようにして自分たちの使命を果たすのに必要な力を得ましたか（詩篇 27:14; 28:7）。

「もし人々が、神と共に歩くならば、神は彼らを岩なるイエスの裂け目に隠してくださる。こうして、彼らは隠されて、モーセが神を見たように、神を見ることができる。 彼らは、神がお与えになる能力と光によって、さらに深く理解し、有限な判断力によって可能と思われたことよりも、さらに多くのことをなし遂げるのである。」（患難から栄光へ下巻 44）

「ヤコブは、不撓不屈の精神を持っていたから祈りが聞かれた。彼の経験は、たゆまず祈りぬくことに力があることを証拠だてた。今こそわれわれは、神に聞かれる祈りと不動の信仰についての教訓を学ばなければならない。キリストの教会、また、クリスチャン個々の最大の勝利は、才能や教育、あるいは富、または人間の援助によって得られるものではない。その勝利とは、神との交わりの部屋で熱心に苦闘する魂が、信仰によって力強いみ腕をつかむときに得られる。

「すべての罪を捨て、熱心に神の祝福を求めようとしなければそれを得ることができない。しかし、ヤコブのように、神の約束をしっかりにぎり、彼のように熱心に屈せず願い求めるものはみな、彼のように聞かれるのである。『まして神は、日夜叫び求める選民のために、正しいさばきをしてくださらずに長い間そのままにしておかれることがあろうか。あなたがたに言っておくが、神はすみやかにさばいてくださるであろう』（ルカ 18:7, 8）。」（人類のあけぼの上巻 221）

b. 今日の改革者たちが神聖な力に対する自分の必要を認めるとき、どの約束を主張することができますか（詩篇 68:35; サムエル記下 22:32, 33）。

「試練の時に神にいかに信頼するかを新たに学ぶことにおいて、エリヤの経験の教訓は、大きな責任の地位にある人々のためばかりではない。エリヤの強さであられたお方は、一人びとりのご自分の苦闘する子がいかに弱かろうとその子を支えるのに力強いお方である。全ての者にこのお方は忠誠を期待しておられる。そして全ての者にこのお方は必要に応じた力を与えてくださる。人は自分自身の力においては無力である。しかし、神の力において、人は悪に勝利するのに、また他の人々が勝利するのを助けるのに強くなることができる。サタンは神を自分の防御とする人に対して有利になることは決してできない。『たしかにある人は言う、主のうちにわたしは義と強さを持っている。……主のうちにすべてのイスラエルの子らは義認され、喜ぶのである』。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1913 年 10 月 30 日）

木曜日 *1月7日*

5. 一人か?

a. 神とその律法を擁護するのに、エリヤは一人でしたか。なぜですか、あるいはなぜそうではありませんか(詩篇 34:7; 91:11; 103:20)。

「アハブ王と偽預言者たちに対面し、イスラエルの集まった会衆に囲まれて、エリヤはエホバの誉れを擁護するために現れた唯一の人であった。……しかし、エリヤは一人ではなかった。彼の上や周囲に天の保護天使たち—力に優れたみ使いたちがいた。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1913 年 9 月 18 日)

b. 真理と義を擁護して一人で立つとき、わたしたちは何を思い出すべきですか(列王記上 19:18)。

「世界中のすべての人が不法で罪深いのではない。すべての者が敵の側に加担したのではない。神は、バアルにひざをかがめない者を幾千人も持っておられる。また、キリストや律法についてもっと深く理解しようと熱望している者、イエスが速やかに来られて、罪と死の支配を終わらせてくださることを切望している者を多く持っておられる。バアルを知らずに礼拝している者も多くあって、聖霊はなお彼らに働きかけているのである。」(国と指導者上巻 139)

「あなたが非難や迫害に遭うとき、あなたは優れた仲間のうちにいるのである。なぜならイエスはそれらすべてに、そしてそれよりはるかに多く耐えられたからである。もしあなたが神のために忠実な歩哨であるなら、これらのことはあなたにとって賛辞である。一人で立つときも真実で、不朽の冠を得ることになるのは、英雄的な魂である。」(ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1884 年 5 月 28 日)

金曜日 *1月8日*

個人的な復習問題

1. 神はしばしばどこから民を召されますか。それはなぜですか。
2. 罪を譴責する代わりに、ほとんどの人は何をしますか。
3. もしわたしたちが自分の光を隠すとしたら、それは何を表していますか。またその結果は何ですか。
4. わたしたちは自分の命の中に神の力に働いていただくという祝福をどのように得ますか。
5. わたしたちだけが真理のために立つ者であるとき、本当に一人ですか。

改革のために働く

「わたしの名をもってとなえられるわたしの民が、もしへりくだり、祈って、わたしの顔を求め、その悪い道を離れるならば、わたしは天から聞いて、その罪をゆるし、その地をいやす。」（歴代志下 7:14）

「罪から人々を救う神の大いなる力についての気高い証言を与えることなくして、イスラエル王国は放棄されてしまうのではなかった。最も暗黒の時代においてさえ、天の支配者に忠実な人々がいくらか残っていて、偶像礼拝のさなかにあってさえ、聖なる神の前に潔白な生活を送ったのである。」（国と指導者上巻 79）

推奨文献：　ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1913 年 8 月 21 日

日曜日　*1 月 10 日*

1.　忠実な残りの民

a.　神の裁きが背教のイスラエルの上に下ったとき、エリヤの時代に忠実な残りの民がいましたか（列王記上 18:13; 19:18）。

b.　神はいつも忠実な残りの民を持っておられますか（ローマ 11:5; 黙示録 12:17）。

c.　神の裁きが地に下るとき、神はご自分の民のためにどのような約束をしておられますか（詩篇 27:5; イザヤ 33:15, 16）。

「エリヤを養われた神は、ご自分の献身的な子供たちをひとりも見捨てられない。彼らの頭の毛までも数えられるおかたが、彼らを保護し、ききんの時にあって満ち足らせられる。悪人たちが飢えと疫病のために死んでいくときに、天使は義人を守り、その必要を満たすのである。「正しく歩む者」には、次のような約束が与えられている。〔イザヤ書 33:15, 16; 41:17 引用〕。」（各時代の大争闘下巻 404, 405）

2. 主の道を備える

a. エリヤは国家的な背教に挑むために、どのような具体的な要求をしましたか（列王記上 18:19, 20）。

「エリヤはカルメル山で全イスラエルとバアルの全ての預言者たちの集会を命じる。預言者の顔つきには恐るべき厳粛さがあり、イスラエルの主なる神の御前に立っている人であるかのような容貌を与えている。背教したイスラエルの状態は、確固たる態度、厳格な話しぶり、命令権を持つ権威が必要であった。神は時と場合に応じたメッセージを用意される。……神は様々な状況にあるご自分の民の状態に応じたふさわしいメッセージを持っておられる。」（教会への証 3 巻 279）

b. 他にだれが、改革の働きを前進させるにあたり、神のために確固たる立場を取りましたか（ネヘミヤ 5:9）。

「主はご自分の働きにおいて、原則に対して鋼（はがね）のように真実な人々をお用いになる。すなわち、霊的な視力を失った人々の詭弁に動揺しない人である。

ネヘミヤが神によって選ばれたのは、回復者として主と共に協力することを喜んでいたからである。……誤った原則が行われているのを見たとき、彼は傍観者として立ち、沈黙によって賛同を与えたのではなかった。彼は人々が彼が誤った側に立っているのだと結論づけるままにしておかなかった。彼は正しいことのために確固として屈することなく立った。彼は神が打ち立てられた諸原則からの逸脱に一点の感化力さえ与えようとしなかった。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1899 年 5 月 2 日)

「ネヘミヤがイスラエルにおいて改革者また救済者として行動したとき、彼は神への愛とその民の繁栄を求める切望に動かされたのであった。彼の心は自分が取りかかった働きに注ぎ込まれた。彼の望み、彼の精力、彼の熱心、彼の品性の決断力は伝播（でんぱ）し、他の人に同じ勇気と気高い目的を吹き込んだ。各自、自分の領域でネヘミヤとなり、自分の隣人の手と心を強めるのを助けた。そしてまもなく弱さは強さと勇気に取って代わられた。」（同上 1884 年 3 月 18 日）

「世界で最も欠乏しているものは人物である。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石の針が南北を指し示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人 、―そういう人である。」（教育 54）

3. 悔い改めへの召し

a. イスラエルの上に送られた裁きの目的は何でしたか（イザヤ 1:16–18; ルカ 11:32）。それはアハブに対してどのような効果がありましたか（列王記上 18:17）。

「この〔突然の〕苦難の目的は、イスラエルに自分たちの罪に対する自覚を目覚めさせ、悔い改めへと導き、神に向き直らせ、こうして彼らがエホバに唯一真実で生ける神として誉れを帰すことができるためであった。三年半の干ばつの後、主はエリヤに言われた、『行って、あなたの身をアハブに示しなさい。わたしは雨を地に降らせる』。『アハブはエリヤを見たとき、彼に言った、「イスラエルを悩ます者よ、あなたはここにいるのですか」。 彼は答えた、「わたしがイスラエルを悩ますのではありません。あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです。あなたがたが主の命令を捨て、バアルに従ったためです』（列王記上 18:1, 17, 18）。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1891 年 5 月 26 日）

「まじめな悔い改めと改革が伴わない告白は、神に受け入れられることはできない。はっきりとした変化が生活にあらわれ、神のきらわれるすべてのものを捨てねばならない。ほんとうに罪を嘆いた結果はそうなるのである。」（キリストへの道 48）

b. 真の悔い改めと偽の悔い改めの違いは何ですか（コリント第二 7:9–11）。

「罪を犯したことを嘆き、外面的には改める人もあるが、それはその悪事のために苦しみに会わねばならぬことを恐れるからである。しかしこれは聖書に教えられた悔い改めではない。かれらは罪そのものよりは、むしろ罪からくる苦しみを悲しむのである。エサウが家督の権を永久に失ってしまったと気づいた時の悲しみがそうであった。また、バラムは、自分の行く手に剣をぬいた天使が立ちふさがっているのを見て、いのちが奪われるのではないかと恐れ、自分の罪を認めたのである。けれどもそれは、罪に対する純真な悔い改めではなく、目的を全く変えるのでもなければ悪を嫌悪するのでもなかった。イスカリオテのユダは主を裏切ったあとで、『わたしは罪のない人の血を売るようなことをして、罪を犯しました』（マタイ 27:4）と叫んだ。」（同上 23）

「この取税人のかしらのうちには、もっとよい人生をあこがれる思いがあった。……ザアカイは悔い改めへの呼びかけを聞いた。……彼は聖書を知っていて、自分の行為がまちがっていることを自覚していた。……彼は……自分が神の前に罪人であることを感じた。……ザアカイは自分の心をとらえたこの自覚にただちに従い、自分が不正を働いた相手の人々の損害をさっそく償いはじめた。」（各時代の希望中巻 373）

4. 従順への召し

a. わたしたちの幸福と救いは何にかかっていますか（詩篇 106:3; ヨブ 36:11; エレミヤ 7:23）。

「わたしたちの幸福と救いは命のパンを食することにかかっている。すなわちみ言葉に従い、キリストのわざをなし、義に押し進め、不義を抑制することである。神の律法の要求の真の評価ほど、自立性、勇気、タラントと能力の増進をもたらすことのできるものはない。……イエス・キリストへの愛はわたしたちを導いて足のともし火であり道の光である神の戒めに従わせ、輝き、清め、祝福に満ちた御父と御子のご臨在をわたしたちに得させるのである。従順な者はエノクのように神と交わることができる。」（神のむすこ娘たち 194）

b. 神への従順を拒む人たちによって、どのような態度が表されますか（使徒行伝 7:51–53; テモテ第二 3:8）。彼らは終わりの時代に神の民をどのようにみなしますか（マタイ 24:9）。

「天の神の不興を引き起こしてきた人たちは、すべての災いを、神の戒めに服従することによって絶えず違反者たちへの譴責となっている人たちのせいにする。日曜安息日を犯すことは神を怒らせることであり、この罪が災害をもたらすのであって、それは日曜日遵守がきびしく実施されねばやまない、と宣言される。また、第四条の要求を主張して日曜日尊重を傷つける者は民を悩ます者であって、神の恩寵とこの世における繁栄とを妨げている、と宣言される。このようにして、昔神のしもべに向けられた非難が、同じようにもっともらしい理由のもとにくり返される。「アハブはエリヤを見たとき、彼に言った、『イスラエルを悩ます者よ、あなたはここにいるのですか。』彼は答えた、『わたしがイスラエルを悩ますのではありません。あなたと、あなたの父の家が悩ましたのです。あなたがたが主の命令を捨て、バアルに従ったためです』」（列王紀上 18:17,18）。民衆の怒りは偽りの非難によってかきたてられるので、彼らは神の使者たちに対して、背信のイスラエルがエリヤに対してとったのと同じような態度をとるであろう。」（各時代の大争闘下巻 353）

「キリストは、サタンのすべての誘惑に対して神のみ言葉をもって応じられた。神の約束に信頼なさって、神の律法に服従する力をお受けになったため誘惑者は勝つことができなかった。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 156）

木曜日 *1月14日*

5.　　回復の働き

a.　回復を要求している「いにしえの道」は何ですか（エレミヤ 6:16; イザヤ 58:12–14）。

「エレミヤは繰り返し、国民の注意を申命記に与えられている勧告に向けた。彼は他のどの預言者よりもモーセの律法の教えを強調し、これらがどのように国家とすべての人の心に最高の霊的祝福をもたらすかを示した。『あなたがたは……いにしえの道につき、良い道がどれかを尋ねて、その道に歩み、そしてあなたがたの魂のために、安息を得よ』（同 6:16）。」（国と指導者下巻 32, 33）

b.　改革の働きには何が含まれていますか。まだこの働きをなすためにだれが召されていますか（イザヤ 62:6; 58:1）。

「無関心、倦怠、無気力が責任のある地位にいる人々を特徴づけ、着実に誇りが増幅し、憂慮すべきほど神の御霊の警告を無視しているというのが驚くべき事実である。神のみ言葉が神の民の周りにおいた防壁が崩されつつある。神が過去ご自分の民を導いてこられた方法を知っている人々が、いにしえの道をたずね、特別な民としての自分たちの立場を守る代わりに、世と手を携えている。この件で最も憂慮すべきことは、警告の声が抗議、嘆願、警告のうちに聞こえてこなかったということである。神の民の目は盲目にされ、教会はすみやかに世俗という水路に漂い込んでいるかのようである。」（教会への証 4 巻 513）

金曜日 *1月15日*

個人的な復習問題

1. **神の忠実な残りの民は、偶像礼拝に囲まれている時代であっても、どのように生きましたか。これは今日わたしたちにどのように適用されますか。**
2. **ネヘミヤは他の人々を、自分と一緒に働くよう鼓舞するために、何をしましたか。**
3. **もしわたしたちが本当に悔い改めているなら、わたしたちの生活にどのような種類の変化が必要ですか。**
4. **真の幸福はどこからもたらされますか。またそれはなぜですか。**
5. **「いにしえの道」を探す代わりに、ある人々は何をしてきましたか。またこれはどのように教会に影響を与えていますか。**

第二のエリヤ

「〔ヨハネ〕はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ、逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう。」（ルカ 1:17）

「ヨハネは、神の前におけるユダヤ人の立場は、彼らの品性と生活とによって決定されるのだと宣言した。口に言うだけでは無価値である。もしユダヤ人の品性と生活が神の律法に一致していなければ、彼らは神の民ではない。」（各時代の希望上巻 109）

推奨文献：各時代の希望上巻 95-111

日曜日　*1 月 17 日*

1.　イスラエルの状態

a.　主の初臨に道を備えるために神が遣わされた使命者の働きは何でしたか（マラキ 3:1–3）。

b.　この使命者はどのような人でしたか（ルカ 1:13–17）。

c.　このような使命者を必要とした神の民の状態は、どのようなものでしたか（ルカ 5:37–39; マタイ 15:8, 9）。

「新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。……イエスはユダヤ人の指導者たちの状態をお示しになった。……彼らは、自分自身の義は十分であると思っていたので、自分たちの宗教に新しい要素がはいりこむことを望まなかった。」（各時代の希望上巻 354）

「〔イエスが呪われた〕いちじくの木は枯れてしまった。この実のない木は、当時のユダヤ国家の状態を象徴していた。すべての機会と特権が彼らに与えられていた。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1900 年 5 月 23 日強調付加）

2. 神の使命者、バプテスマのヨハネ

a. イエスは、バプテスマのヨハネについてどのように言及なさいましたか（マタイ 11:9, 10, 13–15）。

「メシヤの来臨前にはエリヤが姿をとって現われるということも信じられていた。この期待に対して、ヨハネは自分はエリヤではないと答えた。だが彼のことばにはもっと深い意味があった。イエスは、のちになってヨハネのことを、『もしあなたがたが受けいれることを望めば、この人こそは、きたるべきエリヤなのである』と言われた（マタイ 11:14）。ヨハネは、エリヤのなしたような働きをするために、エリヤの霊と力とをもってきた。もしユダヤ人がヨハネを受け入れていたら、その働きは達成されていたのである。しかし彼らはヨハネの使命を受け入れなかった。彼らにとってヨハネはエリヤではなかった。ヨハネは、ユダヤ人のために達成するためにやってきた使命を果すことができなかった。」（各時代の希望上巻 151, 152）

b. バプテスマのヨハネの言葉を聞くために、だれが出て行きましたか（マタイ 3:5, 6; 21:32; ルカ 11:1）。

c. なぜ人々は当時の教師たちよりもヨハネに惹かれたのですか（マタイ 3:1–3）。

「ヨハネは、雄弁な議論や精細な理論をもって自分のメッセージを伝えなかった。驚くような厳格さではあったが、希望に満ちた彼の声が荒野から聞かれた。『悔い改めよ、天国は近づいた』（マタイ 3:2）。新しい奇妙な力が民を動かした。全国家がわきたった。群集が荒野へつめかけた。」（福音宣伝者 54）

d. バプテスマのヨハネは真理を語るのを恐れましたか（マタイ 14:3, 4）。

「ヨハネは王の美しさをながめて、自分を忘れた。彼は尊厳な聖潔を見て、自分が無能力で無価値なことを感じた。彼が宣言しなければならないのは神のメッセージであった。彼は神の力とその義のうちに立つのであった。彼は神を仰ぎ見ていたので、人をおそれることなく、天の使者として出て行く用意ができた。彼は王の王であられる神の前に低く腰をかがめていたので、地上の君主たちの面前に恐れることなくまっすぐに立つことができた。」（同上）

3. 彼の準備、荒野

a. どのように田舎の生活は、バプテスマのヨハネをその使命のために準備させましたか（イザヤ 40:3–5; 30:15; 詩篇 101:3）。

「物事の順序からいえば、ザカリヤの息子は祭司職のために教育されるのが当然だった。しかしラビの学校の訓練は彼をその働きにふさわしくない者にしただろう。神は、聖書の解釈を学ばせるために彼を神学の教師たちのもとにお送りにならなかった。神は彼が自然と自然の神から学ぶように、彼を荒野へ召された。……

ここで彼の環境は質素と克己の習慣にとって都合がよかった。うるさい世間にじゃまされないで、彼はここで自然と啓示と神について教訓を学ぶことができた。ザカリヤに言われた天使のことばは、神をおそれる両親から幾度となくヨハネにくりかえされていた。子供の時からヨハネの使命は彼の目の前におかれ、彼はその聖なる責任を引き受けていた。彼にとって荒野の孤独は、疑いと不信と不潔がほとんどすみずみまで行き渡っている社会からのありがたい逃避だった。彼は試みに抵抗する自分の力を信用しなかった。そして深い罪悪感が失われるのを恐れて、罪とのふだんの接触を避けた。」（各時代の希望上巻 101）

b. 「神に認められる働き人」になるために、バプテスマのヨハネの第一の研究のための情報源は何でしたか。またこれらは彼にどのような影響を及ぼしましたか（テモテ第二 2:15; 詩篇 19:1–3; ルカ 1:8）。

「ヨハネは怠惰ではなかった。……山間の彼の家で、彼を囲む全てのものは彼にとって指示書であった。そこには神のご品性、慈愛、愛に関して最も深い重要な教訓が含まれていた。……

彼の思いをそらし、彼の思想や想像をゆがめるようなわずらいや魅力的な楽しみをもつ喧騒の世から離れて、彼は神と自然と共に閉じ込められた。ここでは悪環境に影響されることなく、理解力が盲目にされることなく、また彼の霊性が悪となじむこともなかった。荒野の静かなひっこんだ場所で、ヨハネは霊において強くなった。その厳格な節制の習慣により、彼は身体的、知的、道徳的健康を得た。彼の識別力ははっきりしており、彼の判断は正しかった。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1897 年 1 月 7 日）

4. 一つの焦点

a. ヨハネの生涯の焦点は何でしたか（使徒行伝 13:24）。使徒パウロのように、どのようにこの焦点は全般的に彼の生活の習慣に影響しましたか（コリント第一 9:27）。

「ヨハネの前には偉大な働きがあった。そして彼がこの働きをなすための健全な身体と知的、道徳的力を得るためには、食欲と情欲を制せられなければならなかった。ヨハネは改革者として前に出て、その禁欲的な生活と質素な衣服によって、民の不節制な習慣や罪深い浪費を譴責するのであった。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1873 年 1 月 7 日）

「だがヨハネの生活は、何もしないで、苦行者のように陰気にあるいは利己的に孤立して送られたのではなかった。彼は時々出かけて行っては人々の中にまじった。彼は世の中で起っていることをいつも興味をもって観察していた。その静かな隠れ家から、彼は諸事件の発展を見守っていた。天来のメッセージをもって人々の心を動かすには どうしたらよいかを理解できるように、彼は神のみたまに照された目をもって人々の性格を研究した。使命の重荷が彼の上にあった。孤独の中にあって、瞑想と祈りとによって、彼は目の前にある一生の働きのために、自分の魂を準備することにつとめた。」（各時代の希望上巻 102）

b. バプテスマのヨハネの食事と衣服を述べなさい（マタイ 3:4; ルカ 1:15）。ヨハネの伝道においてなぜそれは重要だったのですか。

「ヨハネは 、生れた時からナジルびととして神にささげられていたので、〔ザカリヤの子は〕その誓願を守って一生の間献身した。」（各時代の希望上巻 101）

「ヨハネは人々に神の光を伝えるためにエホバの使者として出て行くのであった。彼は人々の考えに新しい方向を与えねばならない。彼は人々に神のご要求の神聖なことと、神の完全な義の必要とを印象づけねばならない。このような使者は聖なる者でなければならない。彼は神のみたまの内住する宮とならねばならない。この使命を、達成するために、彼は健全な肉体と知的霊的な力を持たねばならない。そこで彼は食欲と情欲とを抑制する必要がある。彼は人々の中に あって、荒野の岩や山のように、周囲の環境に動かされることがないように、自分のすべての力を支配することができなければならない。」（同上 99, 100）

「孤独を感じ、陰うつに不機嫌になるどころか、彼は単純な人里はなれた場所の生活を楽しんだ。そして彼の節制の習慣は、彼のあらゆる感覚がゆがめられないように保った。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1897 年 1 月 7 日）

木曜日 *1月21日*

5.　今日のわたしたちのメッセージ

a.　わたしたちはどのようにしてエリヤのメッセージが、キリストの先駆けであるバプテスマのヨハネで終わらなかったことがわかりますか（マラキ 4:5, 6）。今日、わたしたちのメッセージは何ですか（使徒行伝 3:19; イザヤ 58:1）。

「ヨハネは特別な働きをなすために召された。彼は主の道を備え、このお方の道をまっすぐにするのであった。……〔イザヤ 40:3-5 引用〕。これこそ、わたしたちの民に与えられなければならないメッセージである。わたしたちは終わりの時に近い。そしてメッセージは、王路をきよめよ。石を取り除け、民のために旗印を掲げよ、である。民は目覚めなければならない。平和だ、無事だと叫んでいる時間はないのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 2 月 18 日）

b.　このメッセージは教会や世に今日どのように影響を及ぼすことができますか（使徒行伝 22:15; ローマ 10:13）。

「わたしたちは神の律法に有利となる感化力を社会に……及ぼす個人的な義務の下にいる。神聖な福音がわたしたちの心と生活に感化を及ぼしていること、またわたしたちがその戒めへの従順のうちに歩み、その諸原則を一つとして犯してはいないことをすべての人が認められるように、わたしたちの光が輝くようにしなければならない。わたしたちは自分の周囲にいる魂のために世に対して大いに責任がある。……わたしたちが……真理の聖化を通して自分の祝福や特権をわかちあいたいと願っていることを……世がわかるようにしなさい。」（教会への証 4 巻 59）

金曜日 *1月22日*

個人的な復習問題

1.　どの条件に基づいて、今日わたしたちは神の民だとみなされますか。
2.　どのようにヨハネのメッセージは民に伝えられましたか。その結果は何でしたか。
3.　都市から離れて生活するいくつかの利点は何ですか。
4.　生活習慣の全てにおいて、なぜヨハネは節制したのですか。
5.　神は今日どのようにわたしたちが同じメッセージを分かち合うことを望んでおられますか。

ヨハネのメッセージ

「バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪のゆるしを得させる悔改めのバプテスマを宣べ伝えていた。」（マルコ 1:4）

「〔ヨハネの〕働きと奉仕は、後方の律法と預言者を指し示す一方、同時に世の救い主として前方のキリストを人々に指し示した。彼は彼らに『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』と呼び求めた（ヨハネ 1:29）。」（ｻｻﾞﾝ・ｳｫｯﾁﾏﾝ 1905 年 3 月 21 日）

推奨文献：　預言の霊 2 巻 47–57

日曜日　*1 月 24 日*

1.　中心であられるキリスト

a.　ヨハネは自分の聴衆をだれに向けましたか（マタイ 3:11; 使徒行伝 19:4; ヨハネ 1:29）。

b.　ヨハネの知識の源は何でしたか（ルカ 3:2）。わたしたちの研究方法は、どのようにヨハネの研究方法と似たものになるべきですか（ヘブル 12:2; コリント第二 3:18）。

「荒野の生活において、バプテスマのヨハネは神から教えを受けた。彼は自然界における神の啓示を研究した。神聖な御霊の導きの下で、彼は預言者たちの巻物を研究した。昼に夜に、キリストが彼の研究主題であり、彼の瞑想であり、ついには彼の思いと心と魂が、栄光に満ちた幻に満たされたのであった。」（福音宣伝者 54）

「われわれは、キリストの一生について毎日瞑想する時間を持つがよい。イエスの一生の要点を一つ一つとらえ、各場面ことに最後の場面を想像のうちにとらえるべきである。このようにして、われわれのために払われたイエスの大犠牲を心に思いめぐらすとき、キリストに対するわれわれの信頼はもっと堅固になり、われわれの愛はめざめさせられ、われわれはもっと深くキリストの精神を吹きこまれる。もし最後に救われたければ、われわれは十字架のもとで悔い改め、心がくだかれることについて教訓を学ばねばならない。」（各時代の希望上巻 80）

2. 悔い改めへの招き

a. ヨハネのメッセージの内容は何でしたか（ルカ 1:17; マタイ 3:1, 2, 8）。

「バプテスマのヨハネの宣教は非常な興奮を生じさせた。彼の伝道の当初は、宗教的関心は非常に低かった。迷信、伝統、寓話が人々の思いを混乱させていたので、正しい道が理解されなかった。世俗の宝と誉れを得るのに夢中で、人々は神を忘れていた。ヨハネは主の油注がれた者の先駆けとして出て行き、人々に悔い改めを呼びかけた。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1900 年 5 月 17 日）

「ヨハネは メシヤの来臨をのべ伝え、人々に悔い改めを呼びかけた。罪からのきよめのしるしとして、彼はヨルダン川の流れで人々にバプテスマを施した。このようにして彼は、意味深い実物教訓によって、神の選民であることを自称している人々が罪にけがれていること、また心と生活がきよめられなければメシヤの王国にはいることができないことを宣言した。」（各時代の希望上巻 106）

b. 今日、民の状態はどのようなものですか（テモテ第二 3:1–4）。彼らにわたしたちはどのメッセージを伝えるべきですか（使徒行伝 17:30; 26:19, 20）。

「わたしたちは至るところで人々に悔い改めて来るべき怒りから逃れるように説得しなければならない。彼らには救うか失うかの魂があるのである。このことにおいて無関心であってはならない。主は働き人が真剣で確固たる目的に満たされた働き人を求めておられる。人々に時が良くても悪くても伝えなさい。あなたの唇に命の言葉をもって出て行き、男女に万物の終わりが近いことを告げなさい。

わたしたちの魂を神の愛のうちに保っていよう。警告の知らせが伝えられなければならない。真理がわたしたちの唇で弱るようなことがあってはならない。わたしたちは民を目覚めさせ、ただちに準備させなければならない。なぜなら、わたしたちの前に何があるかほとんど知らないからである。最後の残りの時間に生きているというわたしの信仰はかつてなかったほど強い。全ての教師は自分の罪を悔い改めてイエスのみ許へ来る全ての人の前に、開かれた戸を提示しよう。」（伝道 217）

「本物の悔い改めは、罪の罪深い性質に対する自覚から生じる。……指摘されてから行為を認めることと自分と神しか知らない罪を告白することには、大変大きな違いがある。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E･G･ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]2 巻 997）

3. アブラハムの真の子ら

a. ユダヤ人の指導者たちはどのような主張をしましたか。ヨハネは、この主張にどのように応えましたか（マタイ 3:7–10）。

「ヨハネは〔パリサイ人とサドカイ人〕の利己的な誇りと貪欲を譴責した。彼は彼らの不信仰を警告し、彼らの偽善を責めた。彼は神が忠実で従順な民になされた約束を受ける資格を彼らに与えるはずの契約の条件を彼らの側で果たしていないと告げた。アブラハムの子であるという彼らの誇り高い自慢が、彼らを実際にそのような者とするのではなかった。彼らの誇り、傲慢、嫉妬、利己心、残酷さの現れは、従順で正しいアブラハムの子としてよりもむしろ、まむしの子としての品性を示していた。

彼らの不道徳な行いは、神がアブラハムの子らになされた約束をわがものと主張する資格を失わせていた。ヨハネは彼らに、神はアブラハムの血筋の子であることにより頼んで、神が与えて下さった光をなおざりにし、利己的な野心と不道徳な不信によって頑なになった者たちよりも、むしろご自分の約束を果たすことのおできになるアブラハムの子らを、この石からでさえも起こされるであろうと保証した。彼はもし彼らが本当にアブラハムの子であるなら、自分たちの父アブラハムのわざをなすはずであると告げた。彼らはアブラハムの信仰、愛、従順をもつはずである。しかし、彼らはこの実を結ばなかった。彼らはアブラハムを自分たちの父として主張する権利も、神がアブラハムの子孫になされた約束を主張する権利もなかった。」（預言の霊 2 巻 51）

b. イエスは後に、ユダヤ人によってなされた同じ主張にどのように対処されましたか（ヨハネ 8:39, 40）。

c. わたしたちは今日、どのようにしてアブラハムの子孫とみなされることができますか（ガラテヤ 3:26–29）。

「彼らは神の戒めを守る民だと公言している一方で、彼らの行いが彼らの信仰を否定している。そして自分たちの罪に対する真の悔い改めがなければ、キリストの王国にまったくあずかることはないのである。神の正義、慈愛、憐れみ、愛が神の戒めを守る民の生活を特徴づけるはずである。これらの実が彼らの生活の中に見られなければ、彼らのすべての公言は、滅びの火にくべられるもみがらとまったく同じ価値しかない。」（同上 51, 52）

4. 真の偉大さ

a. 真の偉大さの力と基礎は何ですか（詩篇 27:1; 出エジプト記 15:2; ガラテヤ 2:20）。

「国家や個人の強さは彼らを無敵にすると思われる機会や設備のうちに見出されるのではない。それは彼らの自慢する偉大さのうちに見出されるのではない。彼らを偉大に強くするものはただ、神のみ力とご目的である。彼ら自身は、神のご目的に対する自分たちの態度によって自分自身の運命を決定するのである。」（勝利されたキリスト 180）

「神に真の崇敬の念を抱くということは、神の無限の偉大さと神の臨在を自覚することによるのである。すべての者は見えない神に対して、こうした思いを心から抱かなければならない。」（国と指導者上巻 23）

「もしあなたが世の中で言うことが、あなたが教会の中で言うことと一致していれば、特別な結果に際立つであろう。あなたの態度、言葉、精神は絶えずあなたの交わる人々に印象を残している。」（勝利されたキリスト 198）

b. 他の人々に神の知識を伝えるのに、言葉よりも力強いものは何ですか（マタイ 5:14–16; テサロニケ第二 3:9（下句））。

「どんな人も社会に何の影響も与えずに生活することはできない。家族の一員が他の者に自分の影響や気分を感じさせずに自分自身の中に閉じこもることはできない。顔の表情そのものが、よいにせよ悪いにせよ、ある影響を与える。他人に対する彼の気分やことばや行動や態度には誤解の余地がない。もし彼が利己的な生活をしていれば、彼は自分の心を毒を含んだふんい気で包んでいるのである。反対に、キリストに対する愛に満たされているならば、彼は他人に礼儀正しく親切で、人の気持ちをやさしく思いやり、交わる人々に愛の行為を通して、やさしい、感謝にあふれた、楽しい気分を伝える。彼がイエスのために生き、日々イエスの足もとで教えを受け、イエスの光と平和をいただいていることが表わされる。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 26）

「だれでもみな欠陥よりも長所を発見しようと努力なさい。自分の態度や自分の周囲のふんい気が、自分に対する相手の態度を決定する場合が多い。」（同上 106）

木曜日 *1月28日*

5.　人々の反応

a.　何がそれほど多くの人々を荒野へと引きつけましたか（マルコ 1:4; ルカ 3:15）。

「神の預言者は岩のように堅く、あらゆる形態、また諸王や貴族でも、また尊ばれず知られない人々でも、罪や犯罪を忠実に譴責した。〔バプテスマのヨハネは〕義務から離れなかった。自分の神に忠実に、道徳的品性の高潔な尊厳のうちに、彼は岩のように堅く、原則に忠実に立った。」（預言の霊 2 巻 72）

「群集はヨハネの説教を受け入れ、彼の行くところへここかしこと着いてきた。多くの人々が、彼がメシヤであるとの希望を心に抱いていた。しかし、人々が自分に向いているのをヨハネが見たとき、彼は彼らの思いを来るべきお方へ向けようとした。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1907 年 11 月 28 日）

b.　人々の生活の中にどのような顕著な変化が起こりましたか（マタイ 3:8; 使徒行伝 18:24, 25; コリント第二 5:17）。

「救いは、……心のうちに新たにされるべきイエス・キリストとの生きた結合であり、信仰のうちに、そして愛、忍耐、柔和、希望の働きのうちにキリストのわざをするのである。キリストと結合している全ての魂は自分のまわりにいる全ての人にとって生きた伝道者となる。」（伝道 319）

金曜日 *1月29日*

個人的な復習問題

1. **わたしたちの日々の研究は、どのようにバプテスマのヨハネの研究のようになるべきですか。**
2. **今日わたしたちが伝えるべきメッセージは、どのようにヨハネのメッセージと似ていますか。**
3. **今日わたしたちはどのようにしてアブラハムの子と認められることができますか。**
4. **わたしたちはどのような方法によって、他の人々に肯定的な感化を及ぼすことができますか。**
5. **ヨハネのメッセージによって、人々はどのように変わりましたか。**

安息日 2016 年 2 月 6 日

第一安息日献金
世界災害と福祉のために

「〔主は〕しえたげられる者のためにさばきをおこない、飢えた者に食物を与えられる」（詩篇 146:7）

主イエスは言われた、「あわれみ深い人たちは、さいわいである、彼らはあわれみを受けるであろう」（マタイ 5:7）。今日、かつてなかったほど憐れみを働かせることが大いに必要とされています。神はわたしたちを管理者とされました。そしてこのお方は苦難や悲惨や裸や人類の必要について責任はありません。主はわたしたち全てのために十分な備えをしてくださいました。このお方はわたしたちにこれらの苦しむ人々や恵まれない人々の欠乏を和らげるために大いなる供給を与えてくださったのです。

毎日、わたしたちは地震、戦争、洪水、噴火、またその他財産や人名に破壊や大損害をもたらす災害や問題を世界中で聞きます。わたしたちが災害について聞くとすぐに彼らの必要に応えるために行動に移します。どのように応えるかは、災害の性質や、国、目下の経済や地理や政治的状況によります。わたしたちはすみやかに状況を分析し始め、何が一番良い対応かを決定します。

これに加え、平穏時に福祉支部は、申し込みを通じての基金、技術支援、訓練、指導、また事業の特定や実施などを提供します。わたしたちに専門知識があるところでは、必要とされているところに監督や指導を提供することによって支援したいのです。わたしたちの目標は、食物、衣服、毛布、避難所、あるいは心理的援助やカウンセリングなど何でも地方の教会がその地域の必要に応じることができるように強化することです。

神の愛を世界中に分かち合うことは、飛ぶための燃料を必要とする飛行機のようなものです。皆さんの献金はこれらの不足を援助するほとんどすべての方面を推進する燃料です。皆さんの参加とこの燃料がなければ、わたしたちの努力もまた災難となることに間違いありません。全ての人が災害の現場へ行くことは難しいですが、資金は遠くへ行くことができます。皆さんの心が動かされ、この高尚な任務に参加するようお願いします。この事業のために惜しみない献金をお願いします。

福祉支部より皆さんの兄弟より

もう一人のエリヤ

「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。 彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである。」（マラキ 4:5, 6）

「この時代、すなわちキリストが天の雲に乗って二度目に来られる直前に、神は民が主の大いなる日に立つための準備をさせる人々を召しておられる。ちょうどヨハネがしたような働きが、この終わりの時代にもなされなければならない。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E･G･ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]4 巻 1184）

推奨文献： 食事と食物に関する勧告 206–231

日曜日　*1 月 31 日*

1.　　終わりの時に生きている

a.　わたしたちが今生存している時代には、どのような意味がありますか（マラキ 4:1, 5）。

「〔バプテスマのヨハネ〕は、キリストの再臨に人々を備えるための神聖な真理を示すようにこの最終時代に生存する、神から委託された者たちの代表者である。ヨハネは改革者であった。」（食事と食物に関する勧告 65）

b.　終わりの時に直面するとき、わたしたちにはどのような種類の奉仕が求められていますか（ペテロ第二 3:11; ルカ 16:13; 10:27）。

「健全で均斉のとれた品性を築きたいと思う者、よく釣り合いのとれたクリスチャンになりたいと思う者は、すべてをささげて、キリストのために全力をつくさなければならない。なぜなら、あがない主は、分割された奉仕はお受け入れにならないからである。」（患難から栄光へ下巻 177）

「わたしたちは一つの精神、すなわちキリストの思いをもって働かなければならない。もしわたしたちがそうするならば、新しい命が教会の中に入ってくる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1898 年 11 月 29 日）

2. 見張り人になる

a. 見張り人の責任は何ですか（エゼキエル 33:6–9）。

「昔、エルサレムや他の諸都市の城壁の上に配置された見張り人たちは、最も責任のある立場を占めていた。彼らの忠実さにそれらの都市の中にいる全ての人の安全がかかっていた。危険がわかったときには、昼でも夜でも沈黙していてはならなかった。数秒ごとに彼らは全員目覚めているか、だれも害されていないかを確認するために呼び交わすことが要求された。歩哨たちは重要な地点を見渡せる高いところに駐屯していた。そして警告と励ましの叫びが彼らから響いた。これは順々に伝えられ、都市全体を一周するまでその言葉を各々繰り返すのであった。

これらの見張り人は、魂の救いがその忠実さにかかっている牧会を表している。」（教会への証 4 巻 402, 403）

「わたしたちの努力を緩めたり、弱く無気力になったりしている場合ではない。わたしたちの光を枡の下に隠したり、なめらかなことを語ったり、偽りを預言したりしている場合ではない。否、否。シオンの城壁に眠たい見張り人のための場所はない。すべての力が余すことなく完全に神のために用いられなければならない。」（ｴﾚﾝ・G・ﾎﾜｲﾄ 1888 年原稿 720）

b. わたしたちが今日生存している時代を見るとき、何を考えるべきですか（コリント第一 15:34; ローマ 13:11, 12）。

「わが兄弟方よ、わたしたちはこの地上歴史の最も厳粛な時代に生存している。罪を犯している時間はない。不法のうちにい続けることはいつも危険なことであるが、現代は特別な意味においてそうである。わたしたちは永遠の世界のまさに境界まで来ており、かつてなかったほど現世と永遠の厳粛な関係のうちに立っている。」（牧師への証 147）

「エノクにはわたしたちと同じように誘惑があった。……彼は当時生きていた時代に蔓延していた罪に汚されることがなかった。同様にわたしたちも純潔に堕落せずにいることができる。 彼は終わりの時代の危険と堕落のただ中に生存する聖徒たちの象徴であった。神への忠実な従順のゆえに、彼は移されたのである。同様に生きて残る忠実な人々も移されることになる。彼らは罪深く堕落した世から取り去られて天の純潔な喜びへと連れて行かれるのである。」（教会への証 2 巻 122）

3.　道を備えるという任務を受ける

a.　だれが最後の福音のメッセージを宣布することになっていますか（テモテ第二 4:2; 黙示録 14:6, 7; マラキ 3:1）。

「〔黙示録 14:6, 7 引用〕。このメッセージは、『永遠の福音』の一部として宣言されている。福音宣布の働きは、天使にゆだねられたのではなく、人間に委託されているのである。天使はこの働きを指導するために用いられ、人間の救いのための大運動の任を負わせられている。しかし、福音の実際の宣教は、地上のキリストのしもべたちによって行なわれるのである。」（各時代の大争闘上巻 400）

b.　バプテスマのヨハネがキリストの初臨のために道を備えたように、わたしたちがキリストの再臨のために道を備えるべきことを、何が示していますか（イザヤ 40:3; ヨハネ 1:23; ヘブル 12:13）。

「バプテスマのヨハネの働きはこの時代のための働きを表している。彼の働きと、民をその無関心から目覚めさせるためにエリヤの霊と力をもって出て行く人々の働きは、多くの面において同じである。キリストは義のうちに世界を裁くために二度目に来られる。世に伝えられるべき最後の警告のメッセージを担っている神の使命者たちは、ヨハネがキリストの初臨のために道を備えたように、キリストの再臨のために道を備えなければならない。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1900 年 5 月 17 日）

c.　なぜ準備が必要とされているのですか（ヘブル 12:14; ルカ 12:39）。

「キリスト者は、やがて世界に、圧倒的驚きとして起ころうとしている事件の、準備をしなければならない。そして彼らは 、神の言葉を忠実に研究して、その教えに生活を調和させようと努力することによって、この準備をしなければならない。……神はリバイバルと改革を求めておられる。」（国と指導者下巻 226, 227）

「神は、神の民が、間もなくやってくる危機に対して準備することを望んでおられる。準備があろうとなかろうと、彼らは、みなそれに当面しなければならない。そして、神の標準にその生活を一致させた者だけが、試練と試みの時に固く立つことができるのである。」（患難から栄光へ下巻 120）

4. 親と子の心の向きを変える

a. 親がなすように要求されている特別な働きは何ですか（ルカ 1:13–17; 箴言 22:6）。

「天からの御使がザカリヤとエリザベツを指導するために来て、彼らがどのように自分たちの子供を訓練、また教育すべきか、すなわち来たるべきキリストを布告するための使命者を準備するにあたり、神と調和して働くことについて教えた。親として彼らは、神に適任者として任命された役割を果たすのにふさわしい者となるような品性をヨハネのうちに形成するにあたり、忠実に神と協力した。ヨハネは彼らの老年の息子であり、奇跡の子であったから、彼には主のためになすべき特別な働きがあるのであり、主に彼をお任せしようと考えることもできたであろう。しかし、そのように考えることはしなかった。彼らは田舎のひっこんだ場所へ引越した。そこでは、自分たちの息子が都市の生活の誘惑にさらされたり、彼らが親として彼に与える勧告や教えから彼が離れるように誘導されたりしないのであった。神が息子の生涯を意図された目的にあらゆる方法において応じることができるような品性を彼のうちに発達させるため、彼らは自分たちの役割を果たした。彼らの側の不注意な怠慢によって、彼らの息子が善良にして賢明になるのに失敗してはならなかった。〔ルカ 1:7–9 引用〕。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1896 年 4 月 16 日）

b. 各自はどの個人的な働きをするように召されていますか（マラキ 4:4–6）。

「父親方、母親方よ、あなたがたの心を主を求めるように向けなさい。なぜなら、あなたがたの子供たちに正しい品性の型を与えるという重大な責任があなたがたに負わされているからである。常にあなたの前に永遠の利益をおきなさい。彼らが精錬され、純潔で、高潔になるように、品性の最高の特質を表すように教育しなさい。そして世と天の前に、彼らが神に仕えることを選んだことを知らしめなさい。……

不可欠ではないものを取り除くことを決心し、毅然として主の来臨のための準備の働きに取りかかる家族に、大いなる祝福と霊的な力がもたらされる。神は子供たちがキリストのような経験を得るのを助ける働きを親に委ねておられる。……

あなた自身の生活において、キリストのみかたちへの一致を表しなさい。あなたの持っているタラントを活用しなさい。思いと体の力を培いなさい。神の御言葉についてあなたの知識を増し加えなさい。言葉の賜物を活用しなさい。信心深い模範という証拠によって、他の人々の前に、品性を変えるみ言葉の力を掲げなさい。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1911 年 10 月 5 日）

木曜日 *2月4日*

5.　　親と子両者のための働き

a.　ヨハネの親は、なぜ厳格な食事をもって彼を育てる必要があったのですか（ルカ 1:15; マタイ 3:4）。

「子供は、良きにつけ悪しきにつけ、母親の習慣によって影響を受ける。もし自分の子供の安寧を求めるならば、彼女自身が原則によって支配され、節制と自己否定を実践しなければならない。

神はザカリヤの約束の子のために重要な働きを持っておられた。それは活発な思考と活力に満ちた行動が要求される働きであった。彼は健全な体質と、精神的また道徳的強さを持っていなければならなかった。そしてこれらの必要な資格を彼に得させるのが、幼少の頃から注意深く管理された習慣であった。……節制の諸原則が家庭生活のあらゆる詳細にまで実行されるように、親の模範が節制の教訓となるように、自己否定と自制を、できれば乳児期より子供たちに教え、彼らに行わせるようにとわたしたちは強く訴える。」（ﾋｽﾄﾘｶﾙ・ｽｹｯﾁ 208, 209）

b.　なぜわたしたちの努力の非常に多くを自分の子供たちを訓練することに集中させることがそれほど重要なのですか（箴言 22:6; 詩篇 127:3）。

「生れつきの能力よりも、幼いころ身についた習慣が人生の戦いに勝つか負けるかを決定する。青少年時代は種まきの時代である。それはこの世と来世のために収穫の種類を決定する。」（各時代の希望上巻 100）

金曜日 *2月5日*

個人的な復習問題

1. **もしわたしたちが神を最高に愛するならば、そのことがどのようにわたしたちの生活する方法に影響を与えますか。**
2. **今日、忠実な見張り人はどのようにふるまうべきですか。**
3. **わたしたちは来たるべき危機にどのように備えることができますか。**
4. **今日、家族の中でなされることを神が望んでおられる特別な働きは何ですか。**
5. **わたしたちはどのように自分の子供たちに節制において教訓を教えることができますか。そしてこの知識は人生において後に、彼らのために何をなしますか。**

どこで改革が始まるか

「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい霊をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。」（エゼキエル 36:26）

「リバイバルは、深い内省と謙遜をもたらした。罪人に対しては厳粛熱心に訴え、キリストの血による贖いに対してはあわれみを求めるのが、リバイバルの特徴であった。男も女も、魂の救いのために、神に祈り神と格闘した。」（各時代の大争闘下巻 188）

推奨文献：　食事と食物に関する勧告 9–23

日曜日　*2月7日*

1.　自己吟味

a.　霊的な改革を始めるときに、わたしたちの最初の働きはどこでなければなりませんか（コリント第二 13:5; ローマ 8:10）。

「真の改革は魂のきよめから始まる。キリストの恵みが品性を作り変え、その魂が真に神につながっている時に初めて堕落した人々を救う働きが成功を収める。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 155）

b.　外側の改革を成し遂げるために、中で働くどの力が不可欠ですか（テトス 3:5; エゼキエル 36:26, 27）。

「人の心を変える力があるのは、神の聖霊の静かな細い声である。」（国と指導者上巻 138）
「外から始めて中に向かってする努力は、いつも失敗に終わるであろう。神のあなたに関する計画はすべての問題の一大中心である心から始めることであって、そうするならば、正しい原則が心の中から出てくるようになり、改革は内にも外にも向かって行われるのである。」（食事と食物に関する勧告 32）

2. キリストを眺める

a. キリストの模範に何を見ますか（ヘブル 12:2; ペテロ第一 2:21–23）。

「律法は全ての罪を責め、全ての徳を要求する。それは人に外側の配慮を要求し、また魂の純潔を要求する。詩篇記者は、『見よ、あなたは真実を心のうちに求められます。それゆえ、わたしの隠れた心に知恵を教えてください』と記している（詩篇 51:6）。律法はキリストの生涯の中で具現化された。このお方は全人類の型であられる。このお方は律法を生きられた。このお方の純潔、慈愛、真理への献身、そして神の栄光に対するこのお方の熱心さは律法の完全を表している。このお方の全ての行為は、御父の栄光の啓示であった。このお方は律法がこのお方に要求するものの全てであられた。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1901 年 2 月 26 日）

「キリストは神の律法に完全に服従した生活を送り、それによって全人類に模範を示された。キリストの力を通して、その教えの下で、わたしたちはキリストが地上ですごされたのと同じ生活を送らなければならない。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 155）

b. どのような方法において、眺めることがわたしたちを変えますか（コリント第二 3:18; 詩篇 119:11）。

「キリストを眺めることによってわたしたちは変えられる。もし思いがこの地上のことを絶えず考えているならば、これらの事柄がすべてをのみこみ、品性に影響を与え、神の栄光を見失い、忘れてしまう。天の事柄に精通するようになるための彼らの手の届くところにある機会は見過ごされてしまう。霊的な命は死滅する。」（神のむすこ娘たち 105）

「バプテスマのヨハネが伝えたようなメッセージを伝えるためには、彼のような霊的な経験を持たなければならない。同じ働きがわたしたちの内でなされなければならない。わたしたちは神を眺め、そしてこのお方を眺めるうちに自己を見失わなければならない。」（福音宣伝者 55）

「神のみ言葉に夢中になっている心はサタンに対して守備が固められている。キリストを日々の連れ合いまた親しい友とする人々は、見えない世界の諸勢力が自分たちをすっかり取り囲んでいることを感じるであろう。そしてイエスを眺めることにより、彼らはこのお方のみかたちへと同化されるようになる。眺めることによって、彼らは神聖な型へと変えられていく。彼らの品性は天の王国のためにやわらげられ、精錬され、高尚にされる。」（教会への証 4 巻 616）

3. 自己をわきへおく

a. わたしたちが改革の必要を認めるとき、とるべき最初の一歩は何ですか（マルコ 8:34; コリント第二 10:5）。

「ヨハネの教えは、多くの人々の心にキリストがもたらすことになっていた祝福にあずかりたいとの大きな願望を起こさせ、そして彼らは真理を受け入れた。……熱心な願望、決意した意志、目的の堅固さ以外には何も、死のとばりのように地を覆っている道徳的闇に抵抗することはできない。持つことが彼らの特権であった祝福を得るためには、彼らは熱心に働き、自己を否定しなければならなかった。」（ﾕｰｽ・ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 1900 年 5 月 17 日）

「神のみたまが人をめざめさせるふしぎな力をもって魂にふれるとき、人間の誇りは低くされる。世の楽しみ、地位、権力は無価値にみえる。……その時、人々に重んじられていない謙遜と自己犠牲の愛が唯一の価値あるものとして高められる。これが福音の働きであり、ヨハネのメッセージはその一部分であった。」（各時代の希望上巻 151）

b. 自己放棄の働きはどれくらい広域に及ぶものですか（ピリピ 1:21; コリント第二 5:14, 15; ヨハネ 3:30）。

「信仰のうちにあがない主を見ることによって、ヨハネは自己放棄の高さにまでのぼった。彼は人々を自分にひきつけようとせず、彼らの思想を高くさらに高く、神の小羊に留まるまで高めようと努めた。彼自身は声、すなわち荒野における叫びに過ぎなかったのである。今、彼は喜びをもって、全ての人の目が命の光であられるお方へ向けられるために、沈黙と無名を受け入れた。」（福音宣伝者 56）

c. 神の真の使命者の態度はどのようであるべきですか（ローマ 14:7, 8; ガラテヤ 2:20）。

「神の使命者としての自分の召しに真実である者は、自分自身のための誉れを求めようとしない。自己への愛はキリストへの愛のうちにのみ込まれてしまうのである。彼らはバプテスマのヨハネが『見よ、世の罪を取り除く神の小羊』と宣布したように宣布することが（ヨハネ 1:29）、自分たちの働きであることを認める。」（同上）

4. 節制と責任

a. 食事はより効果的な働きに向けてどのように助けとなりますか（コリント第一 9:25–27）。いつ、どこで、この働きがなされるべきですか（ピリピ 2:5; ペテロ第二 1:5–8）。

「徹底的に成功すべき、節制の改革という大いなる働きは、家庭で始まらなければならない。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1877 年 8 月 23 日)

「健康改革の光が今日、神の民の前に開かれている。それは彼らが食欲と情欲がより高い思いの力の支配下におかれている必要を認めることができるためである。これはまた彼らが真理の聖なる連鎖を識別し、世界中にあふれている惑わす誤謬や楽しませる寓話から向きを変えるための知力と明晰さを持つことができるために必要である。」（預言の霊 2 巻 44）

「食欲と情欲はもっと高い知能に服従させられねばならない。この自己訓練は、われわれに神のみことばの聖なる真理を理解し実行する力を与えてくれる知能の力と霊的な洞察（どうさつ）力とにとって欠くことのできないものである。この理由から、節制はキリスト再臨に備える働きの一部である。」（各時代の希望上巻 101）

b. わたしたちは青年たちが自分の思想を制御するようにどのように励ますべきですか（ローマ 12:2; ペテロ第一 1:13）。

「わたしたちは各自個々のなすべき働きがある。すなわち思いの腰に帯を締め、身を慎しみ、目覚めて祈っていることである。思いはしっかりと支配され、道徳的力を強めるような主題にとどまっていなければならない。青年たちは幼少より正しい思想の習慣を培うべきである。わたしたちは健全な通路を通って考えるよう思いを訓練し、それが邪悪な事柄を考え続けることを許してはならない。詩篇記者は次のように声を上げている。『わが岩、わがあがないぬしなる主よ、どうか、わたしの口の言葉と、心の思いがあなたの前に喜ばれますように』（詩篇 19:14）。神がご自分の聖霊を通して心に働かれるとき、人はこのお方に協力しなければならない。思想はしっかりしばられ、制限され、枝が出たり魂を弱め汚すだけの事柄を考えたりしないように引き戻さなさなければならない。口の言葉が天に受け入れられ、交わる人々にとって役立つものであることを望むなら、思想は純潔で、心の瞑想は清くなければならない。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 6 月 12 日)

木曜日 *2月11日*

5.　　奉仕における謙遜

a.　魂をキリストへ勝ち取るのに成功するためには何を理解する必要がありますか(ルカ 14:8–11; ヨハネ 3:30)。

「栄誉の前に謙遜がある。人の前で高い地位を占めさせるために、天は、バプテスマのヨハネのように、神の前に低い地位を占めている働き人をお選びになる。最も子供のような弟子が、神のための働きにおいて最も有能な者である。天使たちは、自分がえらくなろうとする者とではなく、魂を救おうとする者と協力することができる。神の助けの必要を最も深く感ずる者が、その助けを嘆願するとき、聖霊は、イエスを一目見させて、その魂を力づけ、高めてくださる。彼は キリストとのまじわりから出て行って、罪のうちに滅びつつある人々のために働く。彼は 使命のために油をそそがれる。そして学問があって、知的に賢明な人たちの多くが失敗するときに、彼は成功するのである。」(各時代の希望中巻 213)

b.　今日、教会には何が必要とされていますか (ペテロ第一 5:5, 6)。

「謙遜という尊い恵みが牧会と教会において嘆かわしいほど欠乏している。真理を説教する人々があまりにも自分自身の能力を高く考えている。真の謙遜は人々がキリストと真理を高めるように導き、自分がまったく真理の神に依存していることを自覚させる。謙遜の教訓を学ぶことは痛みが伴うが、結局これほど益のあるものは他にない。謙遜の教訓を学ぶ際に伴う痛みは、わたしたちが自分を誤って評価することによって自分の存在を高めた結果であり、自分の大いなる必要を認めることができないからである。」(教会への証 4 巻 378)

金曜日 *2月12日*

個人的な復習問題

1. **心の変化をもつとは何を意味しますか。またどのようにしてこの変化を得ることができますか。**
2. **神の律法への完全な従順の生涯を生きるイエスの模範に、どのように従うことができますか。**
3. **神の御霊が魂に触れるとき、何が起こりますか。**
4. **どのようにして自分たちの思想を支配することができますか。またこれはどのようにわたしたちの言葉に影響を与えますか。**
5. **謙遜は、どのように他の人々への奉仕において、わたしたちを助けますか。**

家庭における改革

「われらのむすこたちはその若い時、よく育った草木のようです。われらの娘たちは宮の建物のために刻まれたすみの柱のようです。」（詩篇 144:12）

「子供は、親がその指導、しつけ、模範によって作り上げたものである。であるから、神の奉仕のために若い者を訓練する親の忠実さの重要性は圧倒されるほどである。」（教会への証 5 巻 37）

推奨文献： ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 355-364

日曜日　*2 月 14 日*

1.　始めるべき場所

a.　改革の働きを始めるために、神はだれに厳粛な責任を負わされましたか（マラキ 4:6; 詩篇 78:5–7）。

「家庭の子供たちが無邪気な赤子の時に親が自分たちの負わされた大きな責任を自覚することができれば、多くの罪と悲惨さを防ぐことができるであろうに。そのとき節制が炉辺で教えられ、食卓は毎日実際的な教訓を提供することであろう。教訓に教訓、規則に規則と子供たちは自制と自己否定の必要性を教えられるべきである。そしてそのとき真の改革が速やかな進展を遂げるのである。」（健康改革者 1877 年 5 月 1 日）

b.　親の知恵の源はどこですか（エペソ 1:17; ヤコブ 1:5）。

「親は自分たちの聖書をとりあげて、自分の子供たちに関する神のご要求が何であるかを理解するために調べなさい。親の義務に何が含まれているかを理解するよう努めなさい。神のみ言葉がわたしたちの家庭の事柄を指導する規則とならなければならない。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育 230, 231）

「祈り、聖書を学び、熱意をあらわすときに、親はこの重大な任務を崇高に成し遂げ、費やした時間と労苦とに対して百倍にも報いられるのである。」（家庭の教育 53）

2. 改革の働きを広げる

a. 親の信仰に何が起こることを主は意図しておられますか（箴言 22:6; テモテ第二 1:5）。

「あなたが自分の義務を家庭で忠実に果たすとき、すなわち家庭の祭司としての父親、家庭の伝道者としての母親であるあなたがたは、家庭の外で善をなすための代理人を増やしているのである。あなた自身の力を活用するとき、あなたは教会や近隣で労するのにますますふさわしい者となっていく。あなた自身と神に自分の子供たちを結びつけることによって、父親と母親と子供たちは神と共に働く共労者となるのである。」（健康に関する勧告 430）

b. もしあなたが自分の生活や自分の家庭で神を第一として来なかったならば、あなたは何をなすべきですか（ヨハネ第一 1:9; ヤコブ 5:16）。

「もしあなたがた〔親〕が家族に対してあなたの義務を行ってこなかったならば、自分の罪を神のみ前に告白しなさい。あなたの子供たちをあなたの周りに集めて、自分の怠慢を認めなさい。彼らに家庭において改革をもたらしたいと願っていることを告げ、あなたが家庭をあるべき姿にするのを助けて欲しいと頼みなさい。彼らに神のみ言葉の中に見出すことのできる指示を読んで聞かせなさい。彼らと共に祈りなさい。そして彼らの命を救い、彼らが神の御国における家庭のための準備をするのを助けてくださるよう願い求めなさい。こうしてあなたは真の改革の働きを始め、継続できるのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1904 年 4 月 21 日）

c. 神に完全に自分自身を委ねるとき、わたしたちの忠実さの結果は何ですか（詩篇 51:9–13; イザヤ 60:2, 3; 使徒行伝 16:5）。

「神が与えて下さった大いなる光が人間の代理人を通して輝き出るとき、大いなる働きがなされる。御霊の現れにおいて、力をもって真理がはっきりと区別された輪郭で明らかにされる。しかしこの働きは家庭で始まらなければならない。

正しい働きが家庭でなされるとき、親は自分たちの心が制せられ、溶かされるのを見出す。教会の兄弟姉妹たちの抱いていた奇妙な偏見、すなわち邪悪な実を結んでいた偏見は克服され、消滅する。率直さの精神、すなわちキリストのみかたちに似た精神が入ってくる。神の民は自分自身の方法でやろうとしたり、自分自身の意見を強く押そうとする固執した願望を放棄するようになる。なぜなら、彼らは神の御子の御前にあることを自覚するからである。」（同上 1902 年 7 月 15 日）

3. 教会に及ぶ効果

a. 家庭で改革がなされるとき、それはどのように教会に反映されますか（エペソ 5:27; テトス 2:14; 詩篇 144:14（下句）, 15）。

「教会の繁栄の基礎は家庭できずかれる。家庭を支配している影響力は教会生活の中に持ち込まれる。だから教会の種々の義務はまず家庭で始められなければならない。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 357）

「〔主〕は改革の働きが家庭で、父親と母親から、始まることを願っておられる。そのとき教会は聖霊の働きを自覚するようになる。この働きの感化はパン種のように教会中に行き渡る。父親と母親は改心することが必要である。彼らは自分の子供たちを正しくかたどり形成するために自らを教育してこなかった。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1902 年 3 月 18 日）

「神は教会員を家庭でどのようなものであるかによって測っておられる。キリストの言葉が家庭で従われるとき、感化は教会へ及ぶ。」（同上 1903 年 7 月 21 日）

b. 家庭における人の感化力は、どのように教会におけるその人の有用性に影響しますか（テモテ第一 3:5）。これはどのように永遠の命の希望に影響しますか（マタイ 25:21）。

「福音の牧会の働きに携わっている人は、自分の家庭生活において忠実でなければならない。彼が家庭を天の家族の象徴とするという目的のために神が与えて下さったタラントを父親として活用することは、牧会の働きにおいて彼が魂を教会に勝ち取るために神が与えて下さった力を用いるのと同様に重要不可欠である。家庭における祭司として、教会におけるキリストの大使として、彼は自分の生活にキリストのご品性を例証すべきである。……

家庭で忠実で識別力のある羊飼いとなることに失敗する人は、教会で神の群れに対する忠実な羊飼いとなることに確実に失敗する。」（キリストを映して 179）

「地上の生活は天上の生活の始まりである。地上の教育は天の原則の初歩である。この世の人生の働きは来世の人生の働きのための訓練である。品性においても、聖なる奉仕においても、現在のわたしたちの姿は、来世におけるわたしたちの姿をうつした確かな影である。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 617）

「大改革運動は家庭で始めなければならない。神の律法に従うことは、勤勉、節約、誠実、正しい対人関係への大きな刺激である。」（家庭の教育 531）

4. 証するために準備する

a. わたしたちの心が神の御霊によって触れられるとき、どのように応えますか（イザヤ 6:8）。

「神が真理の前進のためになされるべき働きを持っておられるとき、このお方は人々が貴重な原石を見つけるために祈りに満ちた熱心さをもって真理の鉱山で働くよう印象づける。これらの人々はキリストのような辛抱強さを持つようになる。彼らはくじけることも失望することもない。彼らはイエスのうちに自己を沈めて見失う。人々は主イエス・キリストの再臨に道を備えるためにエリヤの霊と力を持って出て行く。曲がったものをまっすぐにするのが彼らの働きである。あるものは取り壊されなければならず、あるものは建てられなければならない。古い宝は真理の枠組みの中で置き直されなければならない。彼らは神のみ言葉を宣布しなければならない。彼らの証は健全だと思われてきた意見や考えによって形成されてはならない。そうではなくとこしえに生き永続する神のみ言葉によって形成されなければならない。彼らはキリストを掲げ、罪人を悔い改めへと招かなければならない。……親切で礼儀正しくなり、善を行い、イエスに魂を勝ち取るという個人的な責任を、全ての人に訴えなければならない。」（ｴﾚﾝ・G・ﾎﾜｲﾄ 1888 年原稿 169）

b. 何が新しくされた心の生きた証拠となりますか（コリント第二 5:17; コロサイ 3:10; マタイ 5:16）。

「神のみたまによって心が新たにされるならば、生活がその事実を裏書きする。……性格に、習慣に、いっさいの行動に変化が起る。過去と現在との間にはっきりと決定的な対照が見られるようになる。人の性格はときどきの善行とかまちがいとかでわかるのではなく、日常の言行動作の傾向によって知ることができるのである。」（キリストへの道 74）

「世へ与えられた神のひとり子という賜物に表されたわたしたちの天父の愛は、全ての魂を鼓舞し、全ての固い愛のない心を悔悟と優しさへと溶かすのに十分である。それでいながら、天の知的存在者たちはキリストがそのために死なれた人々のうちに、このお方の愛に対する無感覚、心の頑なさ、そして全ての良いものの与え主に対する何の感謝も愛情の反応もないことを見るのであろうか。さして重要でない事柄が存在の全ての力をすっかり奪い、神の愛は何の見返りも受けないのであろうか。……わたしたちは信仰が増し加わる必要がある。わたしたちは待たなければならない、見張らなければならない、祈らなければならない、聖霊がわたしたちに豊かに注がれて、わたしたちが世における光となることができるように嘆願しつつ働かなければならない。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育の基礎 198, 199）

木曜日 *2月18日*

5.　全世界へ出て行く

a.　キリストがまもなく来られることを考えるとき、今日何のメッセージが伝えられなければなりませんか（ゼパニヤ 1:14; アモス 4:12）。

「キリストの間もない出現を信じている民として、わたしたちには担うべきメッセージがある『あなたの神に会う備えをせよ』（アモス 4:12）。」（教会への証 8 巻 332）

b.　福音のメッセージを伝える働きは、どれほど広く及びますか（イザヤ 61:10, 11; マタイ 24:14; 黙示録 14:6）。

「キリストの間もない来臨のメッセージが全世界に鳴り響くべき時が来た。」（同上 9 巻 24）

c.　このメッセージはどのように伝えられるべきですか（使徒行伝 4:29–31）。

「今日わたしたちは聖なる大胆さをもって真理を語る必要がある。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 2 巻 52）
「ラッパが確かな音を出さなければならない。なぜなら、わたしたちは主の備えの大いなる日にいるからである。」（伝道 218）。
「〔神の忠実な大使である〕これらの神に選ばれた人々から、真理が輝き出る。それは彼らの唇から聞かれ、彼らの表情に反映され、そして彼らの生活で実践される。彼らは純潔と腐敗していないこととによって注目される。キリストの恵みは精錬し高尚にする感化力を品性に及ぼす。」（キリストを映して 347）

金曜日 *2月19日*

個人的な復習問題

1.　親はどのようにして自分の家庭において改革の働きを始めることができますか。
2.　あなたが家庭で自分の義務を忠実に果たすとき、どこでもっと効果的に働くことができるようになりますか。
3.　神はどのようにわたしたちを測られますか。
4.　わたしたちはこの世においてどのように光となることができますか。
5.　真理を世に伝えることには何が関与していますか。

ラオデキヤへのメッセージ

「そこで、あなたに勧める。富む者となるために、わたしから火で精錬された金を買い、また、あなたの裸の恥をさらさないため身に着けるように、白い衣を買いなさい。また、見えるようになるため、目にぬる目薬を買いなさい。」(黙示録 3:18)

「全ての人は今、主を求める必要がある。神の民はリバイバルと改革がない限り、テストに耐えられないことであろう。主はご自分が義人のために用意された住まいに、自己に満足している魂がひとりでも入ることをお許しになることはない。」(教会への証 7 巻 285)

推奨文献：　SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E･G･ ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]7 巻 961–967

日曜日　*2 月 21 日*

1.　ラオデキヤの状態

a.　今日、クリスチャンだと公言する世界において、どのような態度が一般的ですか(イザヤ 4:1)。

b.　ラオデキヤ時代の間、キリスト教会の危険な状態は何ですか (黙示録 3:17)。

「自ら自分の霊的な富、すなわち真理の知識を誇りながら、自己欺瞞の罪のうちに生きている人々が大勢いる。教会員が、二心や生気のない行為によってではなく熱心な行動によって、神の御前に自らをへりくだらせるなら、主は彼らを受け入れてくださる。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1890 年 12 月 23 日)

「キリストは自己満足に満ち足りている人々の名を取り上げることはおできにならない。このお方はご自分の助けの必要を感じず、すべてを知り、所有していると主張する民のために、しきりに懇願することはおできにならない。」(SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E･G･ ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]7 巻 964)

2. ラオデキヤへの率直な証

a. キリストはご自分の民だと公言する者に、どのような驚くべき非難をしておられますか（黙示録 3:15, 16）。

「ラオデキヤ教会へのメッセージは驚くべき非難であり、現代の神の民に当てはまる。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1873 年 9 月 16 日）。

b. この状態を正すことを意図したメッセージは、どのように 1888 年ミネアポリスで開催された世界総会で拒否されましたか（黙示録 3:18; 18:1）。

「A.T. ジョーンズと E.J. ワゴナーによってわたしたちに与えられたメッセージは、ラオデキヤ教会へ向けられた神のメッセージであった。そして真理を信じると公言しながら、他の人々に神の与えて下さった光線を反射させない者はだれでも災いである。」（原稿ﾘﾘｰｽ 15 巻 92）

「メッセージとその使者は受け入れられずにさげすまれた。わたしは神の愛のメッセージを非常に必要としていた人々がキリストの心の戸をたたく音を聞いて天来の来賓を入れるようにと切望していた。しかし、イエスがたたいていたある者の心ではそれが無駄であった。ミネアポリスで与えられたメッセージを拒むことによって、人々は罪を犯した。彼らは何年も神の使者たちに対する同じ憎しみを抱き続け、また聖霊が心に強く訴えてきた真理を拒むことによって、さらにはるかに大きな罪を犯してきた。」（ｴﾚﾝ・G・ﾎﾜｲﾄ 1888 年原稿 913）

「テストの時はわたしたちに迫っている。なぜなら、罪を許す贖い主、キリストの義の啓示のうちに第三天使の大いなる叫びはすでに始まっているからである。これは全地を栄光で満たす御使の光の始まりである。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 363）

「先入観のある意見を明け渡してこの真理を受け入れることをよしとしない心が、ミネアポリスで〔E.J.〕ワゴナーと〔A.T.〕ジョーンズを通して与えられた主のメッセージに対してあらわされた反対の大部分を占める基礎である。サタンは反対をかきたてることによって、わたしたちの民から神が与えたいと切望しておられた聖霊の特別な力を締め出すことに大いに成功した。敵は彼らがペンテコステの日の後に使徒たちが宣布したように世界に真理を伝えるにあたり自分たちのものとすることができたはずの力を得ることを妨げた。全地をその栄光をもって照らすはずの光が拒まれた。そして、わたしたち自身の兄弟たちの行動によって、大いに世界から遠ざけられたのである。」（同上 234, 235）

3. 燭台の火を灯し続ける

a. 今日どの警告がわたしたちに与えられていますか（黙示録 2:5; ヨブ 18:5, 6; エレミヤ 25:10）。

「わたしたちが自分の使命を果たすことをやめるとき、燭台が光を反射することを拒否するとき、わたしたち個々に信任のうちに委ねられた世のための偉大な数々の真理が彼らに与えられないとき、そのとき燭台は取り除かれるのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1887年6月7日）

「わたしたちには教会への警告のメッセージがある。神はあなたに言われた、『熱心になって悔い改めなさい』。『悔い改めて初めのわざを行いなさい。もし、そうしないで悔い改めなければ、わたしはあなたのところにきて、あなたの燭台をその場所から取りのけよう』（黙示録 2:5）。あなたが魂をキリストに勝ち取ることができたはずの貴重な時が浪費されてしまった。その魂はあなたの安逸を愛する心のために今や失われてしまった。教会員は皆、今こそ義務に目覚めるべきである。あなたが重荷を取り上げるのを神が助けてくださるように。教会員は祈り、断食し、信じなさい。親の心が自分の子らに向けられ、子供の心が自分の親に向けられるように。『これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである』と主は言われる。」（ﾋｽﾄﾘｶﾙ・ｽｹｯﾁ 286, 287）

「生けるクリスチャンは自分の最初の愛から離れていない人である。そして彼の燭台はその場所から取り除かれないのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1892年11月1日）

b. わたしたちが持っている光をどのように扱うべきですか（マタイ 5:16; ルカ 11:33）。わたしたちの光が輝くために、わたしたちは何を必要としていますか（マタイ 25:4）。

「わたしたちはイエスを眺め、このお方の御霊をとらえ、このお方の善と愛の光のうちに生き、このお方の栄光を他の人々に反映させなければならない。」（今日のわたしの生涯 200）

「教会は目覚めて光を放ちなさい。全ての家族は自己否定を実践し、自分たち自身の状態を向上させるためにできることを全てしなさい。真に主の側にいる人々は、自己を否定し、自己を犠牲にしている。彼らは不節制のために魂や体を堕落させることを拒み、神の栄光のために食べまた飲む。そのとき、教会の状態は、その光が取り除かれてはいないことを証するようになる。しかし、もし教会員が神に任命された役割を果たさないならば、健康改革の運動は彼らなしに前進する。そして神が彼らの燭台をその場所から取り除かれたことがわかるようになる。光を受け入れ、実践することを拒む人々は取り残されることになる。」（原稿ﾘﾘｰｽ 13巻 339）

4. わたしたちの器の中の油

a. ラオデキヤ状態と五人の愚かなおとめによって表されている教会の状態の間は、どのような類似性がありますか（黙示録 3:15, 18; マタイ 25:3, 8-10）。

「これらの眠っている弟子たちのうちに〔イエスは〕眠っている教会の象徴をごらんになった。彼らは見張っているべきときに、眠っているのである。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E・G・ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]5 巻 1104）

「愚かなおとめたちによって表されている教会の状態は、ラオデキヤ状態とも言われている。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1980 年 8 月 19 日）

「キリストに従うと公言する人々は嘆かわしい状態にあるが、それでも灯火が消えるばかりで自分たちの器を油で再び満たす時間がない愚かなおとめたちの状態ほど厳しく絶望的ではない。花婿が来たとき、準備ができていた人々は婚宴の部屋へ彼と共に入った。しかし、愚かなおとめが来たときには戸は閉められており、彼らが入るには遅すぎたのである。しかし、真の証人の勧告は生ぬるい人々を希望のないものとしては表していない。そこにはなお彼らの状態を癒す機会があり、ラオデキヤのメッセージは励ましに満ちている。なぜなら、背信の教会はなお、信仰と愛の金を買うことができ、キリストの義の白い衣を持つことができ、自分たちの裸の恥を表す必要はないからである。」（同上 1894 年 8 月 28 日）

b. 眠っているなまぬるい教会に何が必要ですか（マタイ 25:4, 7; レビ記 24:2）。

「神はあなたに輝くよう求めておられる。集中的な配慮をもってあなたのともし火を切り整え、恵みの油をあなたの器に入れて、あなたのともし火がいつも切り揃え、燃えているようにしなさい。こうして、この世の道徳的な闇のただ中でもあなたの光が明るく輝き、はっきりしているようにしなさい。真理をつかんでいる全ての人は、それを義のうちにつかみ、その価値と神聖さを正しく評価すべきである。彼らは人生のすべての大路や垣根にその光線を送ることができるように、神の知恵を求めるべきである。もしわたしたちが真理によって聖化されるならば、わたしたちの魂はその重要性に対する深く永続的な意識に満ち、真理に従うことがわたしたちの食事や飲み物となり、貴重な光を他の人々に伝えるようになる。」（同上 1893 年 2 月 7 日）

5.　世界に対して光を担う者

a.　ラオデキヤの裁きの時代の間、わたしたちの働きは何ですか（黙示録 3:19–21; 14:6）。

「わたしたちには民の前に提示すべき貴重な光がある。そして現代の真理であるこの時代のためのメッセージをわたしたちが持っていることを喜んでいる。キリストがわれらの義であるとの知らせは、多くの、実に多くの魂に救済をもたらしてきた。そして神はご自分の民に『前進せよ』と言われる。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1889 年 7 月 23 日)

「警告のメッセージが伝えられた全ての人にとって、イエスを掲げること、このお方が型のうちに明らかにされ、象徴のうちに影として表され、預言者たちの啓示の中に表された通りに、またこのお方がご自分の弟子たちに与えて下さった教訓や人の子らのためになされたすばらしい奇跡のうちに覆いが取りのけられた通りに世に提示することが、働きである。聖書を調べなさい。なぜなら、それはこのお方について証をするものだからである。

もし悩みの時に持ちこたえたいのであれば、あなたはキリストを知り、このお方の義の賜物を自分のものとしなければならない。このお方はそれを悔い改めた罪人に着せてくださる。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 363）

b.　キリストの残りの教会のうちにあるどの状態が、世に対して証となりますか（ヨハネ 17:20, 21; ヘブル 13:1; ペテロ第一 3:8, 9）。

「民の間に一致と兄弟の愛があることが神のみこころである……真理の原則は一つでも犠牲にすべきではないが、このような一致の状態に達することがわれわれのふだんの目標でなければならない。」（人類のあけぼの下巻 152）

金曜日 2月26日

個人的な復習問題

1. **ラオデキヤ時代の教会の悲しむべき状態は何ですか。**
2. **100 年以上前に、神の民が聖霊の特別な力を受けることを阻んだものは何でしたか。**
3. **わたしたちは自分の光をどのように輝かすことができますか。**
4. **わたしたちはラオデキヤと五人の愚かなおとめの間の相違を考えるとき、どのような希望をもつことができますか。**
5. **この時代、わたしたちに対する神の願いは何ですか。**

安息日 2016 年 3 月 5 日

第一安息日献金

コロンビアにおける学校のために

「教会学校を建てて、子供たちがそこに通うと共に、なお母親の監督のもとにおかれ、そして神のご計画に従って子供たちが家庭で学ぶ、人を助けるという教えを実践する機会が与えられるようにすることが、本当にたいせつである。……子供たちを救い、教育するためにはるかにもっと多くのことができる。……これはわたしたちが最大の努力をしなければならない事柄である。」（家庭の教育 324, 325）

イエス・キリストが人類にまかされた任務は本質的に教育の働きに関係します。この働きはキリストを自分の個人的な救い主として受け入れた全ての魂によって立派に果たされなければなりません。ここコロンビアでは、わたしたちは経験から、福音の種をまく最上の方法の一つが、神のみ言葉を基礎とした福音の諸原則を教える自分たち自身の施設で子供や青年たちを教育することによってなされることを知っています。

11 年前、わたしたちは子供たちを守り、わたしたちの信仰の一部である諸原則を教えるために学校を始めました。神はこの働きを大いに祝福してくださり、わたしたちの教会の外にいたほかの人々も自分の子供たちをわたしたちの施設に送ることに関心を示しました。この関心に応えて、わたしたちは、自分たちの教育事業に参加する願いを持っていたすべての子供たちに、わたしたちのクラスに入学の募集を広げました。結果として、これらの元生徒たちが、バプテスマによって主との契約関係に印を押したのです。

現在、わたしたちの施設を維持することは容易ではありません。わたしたちは教育省に認可されているにもかかわらず、事業の発展に見合う適切な基盤を持っていません。わたしたちは今自分たち自身の施設を建設する必要があります。贖うために教育することは、価値ある投資だと信じています。なぜなら、わたしたちの子供や青年たちを不適切な教えを受ける公立学校へさらすことは、彼らの霊性や道徳的発展を害することになるからです。

この理由のために皆さんの寛大な心に訴え、教育というまさに重要な働きのために惜しみない献金を捧げてくださいますようお願いいたします。神の祝福が「贖うために教育する」というこの目標に到達するためにわたしたちを助けてくださる一人びとりの寛大な魂の上に注がれますように、お祈りいたします。

コロンビアより皆さんの兄弟姉妹より

初期の信心のリバイバル

「いのちと信心とにかかわるすべてのことは、主イエスの神聖な力によって、わたしたちに与えられている。それは、ご自身の栄光と徳とによって、わたしたちを召されたかたを知る知識によるのである。」（ペテロ第二 1:3）

「神の律法が、その正当な位置に回復されて初めて、神の民と称する人々の間に、初代の信仰と敬虔のリバイバルが起こり得るのである。」（各時代の大争闘下巻 209）

推奨文献：　キリストの実物教訓 314–317;
文書伝道 72–75

日曜日　*2 月 28 日*

1.　残りの教会の最大の必要

a.　教会のあらゆる必要の中で、最も命に関わり差し迫ったものは何ですか（ホセア 6:1, 2; イザヤ 57:14, 15）。

「わたしたちの間の真の信心のリバイバルこそ、あらゆるわたしたちの必要の中で、最大にして最も緊急を要するものである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1887 年 3 月 22 日）

b.　どの力が本物のリバイバルを可能にしますか（ゼカリヤ 4:6; ヨハネ 3:5, 6）。

「リバイバルと改革は聖霊の働きの下でなされなければならない。リバイバルと改革は二つの異なることである。リバイバルは霊的な命が新たにされること、思いと心の力がよみがえること、霊的な死からの復活を意味する。改革は再組織であり、考えや理論、習慣や慣習における変化である。改革は御霊のリバイバルと関連がない限りよい実を結ぶことはない。リバイバルと改革はそれぞれ定められた働きをなすべきであり、この働きをする際、交じり合わなければならない。」（同上 1902 年 2 月 25 日）

2. 改革の働き

a. わたしたちの使命には何が関わっていますか（イザヤ 58:12; 使徒行伝 3:20, 21）。

「生きた力がキリストの再臨のメッセージに伴わなければならない。わたしたちは主が戻られるという祝福された希望へ多くの魂が改心するのを見るまで安んじてはならない。使徒たちの時代に彼らの担ったメッセージは本物の働きをなし、生ける神に奉仕するために魂を偶像から向き直らせた。今日なされるべき働きも全く同様に本物で、真理も全く同じように真理でなければならない。ただ主の来臨が近づいているため、わたしたちははるかにもっと大きな真剣さをもってメッセージを伝えなければならない。この事態のためのメッセージは明白で、単純で、最も深い重要性を持ったものである。わたしたちはそれを信じている男女らしく行動しなければならない。待ち、見張り、働き、祈り、世に警告する―これがわたしたちの働きである。」（伝道 219）

b. 捕囚の後にエルサレムの城壁を再建していたとき、ネヘミヤはどのように反対に応じましたか（ネヘミヤ 6:3）。わたしたちはこの経験から、何を学ぶことができますか。

「ゼルバベル、エズラ、ネヘミヤの指導のもとに、帰還した捕囚たちが行った回復と改革の働きは、この地上歴史の最後の時代に行われるべき、霊的回復の働きの情景を示している。イスラエルの残りの民は、敵の襲撃にさらされた弱い民であった。しかし神は、彼らによって、神ご自身とその律法についての知識を地上に示そうとなさった。彼らは真の礼拝の擁護者であり、聖なる言葉の保管者であった。彼らは神殿を再建し、エルサレムの城壁を建設したときに、様々の経験をしたのである。彼らは強力な反対に当面しなければならなかった。この工事の指導者たちの負った荷は、実に重かった。しかしこの人々は、神が真理に勝利をお与えになることを信じつつ、揺るがぬ確信と謙遜な精神と、神に対する固い信頼をもって前進した。ネヘミヤはヒゼキヤ王のように、『固く主に従って離れることなく、主が‥‥ 命じられた命令を守った。主が彼と共におられた』（列王記下 18:6, 7）。」（国と指導者下巻 276.277）

「神は、エリヤ、ナタン、バプテスマのヨハネのような 人々、すなわち、結果がどうなろうとも、忠実に神の言葉を伝える人々を召しておられる。また、所有するすべてのものを犠牲にすることを要求されても、勇敢に真理を語る人々を、神は召しておられるのである。」（国と指導者上巻 111）

3. 罪に同情する

a. 聖書は罪をどのように定義していますか（ヨハネ第一 3:4）。神は賢明ではない罪に対する同情をどのようにみなされますか（テトス 3:10, 11; エペソ 5:11）。

「今日推進されるべき改革の働きにおいて、エズラやネヘミヤのように、罪の軽減も、言い訳もせず、恐れずに神の栄誉を擁護する人々が必要である。この働きの重責を担う人々は、悪が行われる時に沈黙したり、偽りの愛という衣で、罪悪を覆ったりはしないのである。彼らは神が人を偏り見ないおかたであることを思い出し、数名を厳格に処罰することは、多くの人々を救うことを思い出す。そしてまた彼らは、悪を譴責する者は、常にキリストの精神をあらわすべきであることを忘れないのである。」（国と指導者下巻 275）

「現代、教会の繁栄にとって危険な罪と罪人への同情がある。愛がなければならないと叫ぶ。しかし、過ちの言い訳をし、罪人をかくまう心情は、聖書の愛ではない。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1881 年 1 月 6 日）

b. 罪は譴責されずにやり過ごされるべきですか（エペソ 5:11; テモテ第二 4:2）。

「教会の中でもうひとたび、『あなたがその人です』という忠実な譴責の声が聞かれるのはいつであろうか〔サムエル記下 12:7 参照〕。もしこれらの言葉がこれほど稀（まれ）でなければ、わたしたちは神の力をもっと見ているはずである。主の使者たちは自分たちの賞賛を愛する心、人々を喜ばせようとする願望を悔い改めない限り、自分たちの努力が実を結ばないことをつぶやくべきではない。これらのことが真理を抑制し、神が平安を語られない時に平安と叫ぶように導くのである。」（福音宣伝者 150）

「〔ヨハネ 20:23 引用〕。キリストはここでだれにも他の人に裁きを下す自由を与えてはおられない。山上の垂訓でこのお方はこれを禁じられた。それは神の大権である。しかし、教会にはその組織された地位において個々の教会員に対する責任をおいておられる。罪に陥った者たちに対しては、教会には警告し、指導し、もし可能であれば回復する義務がある。……

悪行は忠実に扱いなさい。危険のうちにいる全ての魂を警告しなさい。だれ一人自らを欺くがままに放置してはならない。罪をその正しい名で呼びなさい。神が虚言、安息日を破ること、盗み、偶像礼拝、そしてそのほか全ての悪に関して言われたことを宣言しなさい。『このようなことを行う者は、神の国をつぐことがない』（ガラテヤ 5:21）。」（同上 502）

4. 正しいことを行う熱心さ

a. 神の使命者たちは正しいことのためにどれほど熱心ですか（イザヤ 58:1）。

「ほとんど全世界的な背教というこの時代に、神はご自分の使命者たちがエリヤの霊と力のうちにご自分の律法を宣布するよう求めておられる。キリストの初臨のために民を備える際に、バプテスマのヨハネが人々の注目を十誡に集めたように、わたしたちも不確かな音でではなく、『神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである』とのメッセージを伝えなければならない（黙示録 14:7）。預言者エリヤやバプテスマのヨハネを特徴づけた熱心さをもって、わたしたちはキリストの再臨のための道を備えるよう奮闘すべきである。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ [E･G･ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ]4 巻 1184）

「わたしたちのメッセージはバプテスマのヨハネのメッセージのように率直でなければならない 。彼は諸王をその悪のために譴責した。彼の命が危険にさらされたにもかかわらず、彼は神のみ言葉を宣布することをためらわなかった。そしてこの時代のわたしたちの働きも、同様に忠実になされなければならない。」（福音宣伝者 55）

b. 改革の働きに取りかかるように召されるとき、わたしたちはしばしばどのように反応しますか（申命記 20:8）。

c. そのような時に、わたしたちは何を思い出すことができますか（イザヤ 35:4; マタイ 28:20（下句））。

「エリヤは彼のいるべき場所を逃げ出してはならなかった。彼は主の栄誉を擁護することを彼にお命じになったお方の保護を仰ぎ求めて、イゼベルの威嚇に立ち向かわなければならなかった。彼は自分が信頼している神が、女王の怒りから彼を保護してくださることを、使者に告げるべきであった。彼が驚くべき神の力のあらわれを目撃してから、まだほんの数時間しか経っていなかった。そしてこれは、彼が今捨て去られることはないという確証を彼に与えるはずであった。彼がその場にとどまり、神を彼の避け所、また力として真理のために固く立ったならば、彼は危害を受けることなく守られたことであろう。主はイゼベルに刑罰をお与えになって、もう一つの著しい勝利をお与えになったことであろう。そしてそれは、王や国民に深い感銘を与えて、大いなる改革を引き起こしたことであろう。」（国と指導者上巻 127.129）

5. 模範の力

a. 模範の力はどれほど効果的で、遠くまで及びますか（テモテ第一 4:12; イザヤ 62:10）。

「民がその牧師よりも高くのぼることはほとんどない。彼のうちにある世を愛する精神は、他の人々に甚大な感化を及ぼす。民は彼の欠陥を自分たち自身の世を愛する精神にふたをする言い訳にする。……

牧師たちは群れの模範であるべきである。彼らは魂に対する不朽の愛と、彼が民の中に見たいと願っているのと同じみ事業に対する献身を表すべきである。」（教会への証 2 巻 645, 646）

b. わたしたちはみな自分自身の状態について、どのように自己欺瞞に陥るかもしれませんか（マタイ 23:25–28）。何が治療法ですか（ヤコブ 4:8）。

「改革者は破壊者ではない。彼らは自分たちの計画と調和せず、それらに同化しない人々を損なおうとは決してしない。改革者は後退ではなく、前進しなければならない。彼らは決然と、固く、決意し、ひるまずにいなければならない。しかし、堅固さは独裁的な精神へと退化してはならない。神はご自分に仕える者がみな原則の関わるところでは岩のように固く、しかしキリストのように柔和で心の低い者であることを望まれる。そのとき、キリストのうちに宿ることによって、彼らはこのお方が彼らの立場におられたらなさるはずの働きができるのである。」（同上 6 巻 151）

「イエスの宗教は何であっても気質における固さや荒さを和らげ、ふるまいにおける粗雑さや鋭さをなめらかにする。それは言葉を優しくし、態度を気持ちのよいものにする。わたしたちはどのようにして高い意味における純潔さと高潔さを気質の快活さに結びつけるかを、キリストから学ぼうではないか。親切で礼儀正しいクリスチャンはキリスト教のために生み出せるもっとも力強い論拠である。」（文書伝道 73）

金曜日 3月4日

個人的な復習問題

1. **今日何が教会の最大の必要ですか。**
2. **イエスの間もない再臨のメッセージを伝えることに、どのように参加することができますか。**
3. **教会は教会員に対してどのような責任がありますか。**
4. **改革の働きに取りかかるときに、わたしたちの態度はどうあるべきですか。**
5. **他の人々を扱う方法において、どのようにイエスの模範に従うことができますか。**

わたしたちのメッセージ

「あなたがたは、むなしいだましごとの哲学で、人のとりこにされないように、気をつけなさい。それはキリストに従わず、世のもろもろの霊力に従う人間の言伝えに基くものにすぎない。（コロサイ 2:8）

「神のご計画は罪びとを喜ばせ、へつらう使者を遣わすことではない。このお方は聖化されていない者を肉の安心感へと寝かしつけるために平安のメッセージを送られることはない。そうではなく、このお方は悪を行う者の良心におもい重荷を置き、鋭い罪の自覚という矢でその魂を刺し通されるのである。」（教会への証 4 巻 178）

推奨文献：各時代の希望上巻 99–111

日曜日　*3 月 6 日*

1.　　水で薄めたメッセージ

a.　どのように神のメッセージを弱めたり、あるいは効果のないものにすることが可能ですか（コリント第一 1:17; マルコ 7:13）。

b.　忠実なメッセージの代わりに、しばしば何が民に語られていますか（エレミヤ 6:14, 15; エゼキエル 13:10）。

「人々はあえて神の御目に嘆かわしい罪を犯しながら、それらのためにとがめられることはないと考えている。なぜなら、彼らはそれは自分が神経質なため、特別な気質のためだからと言うのである。しかし、これは良心を鎮めて、『平安がないのに、平安、平安』と叫んでいるにすぎない。罪は罪である。そしてそれを嘆かわしいものとして見せないようにする光は何でもサタンの惑わしである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1893 年 8 月 1 日）

c.　へつらいを神はどのようにみなされますか（詩篇 5:9; 12:3）。へつらいは何をなしとげますか（箴言 26:28; 29:5）。

「賞賛、へつらい、放縦は、サタンが考案する他のどんな策略よりも尊い魂を偽りの道へ導くためにもっと多くのことをなしてきた。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育の基礎 304）

2. わたしたちの生活様式

a. ヨハネの食事は何でしたか。また彼の品性について何と言われましたか（マタイ 3:4; ルカ 1:80）。彼の生活様式はどのように当時の人々にとって譴責でしたか。

「バプテスマのヨハネの時代には、富に対する強い欲望とぜいたくと見せびらかしを愛する思いが一般にひろがっていた。官能的な享楽や飲み食いによって、肉体の病気と堕落が生じ、霊的な知覚はにぶり、罪に対する感覚が低下していた。ヨハネは改革者として立つのであった。彼は節制の生活と質素な衣服とによって、当時の放縦を責めるのであった。だから天のみ座からの天使によって、ヨハネの両親に、さしず、すなわち節制についての教訓が与えられた。」（各時代の希望上巻 100）

「幾年も神は、彼の民の注意を健康改革に向けてこられた。これは、人の子の来臨に備える働きの主要な部分の一つである。バプテスマのヨハネは主の道を備え、人々に義人の思いを持たせるためにエリヤの霊と力とをもって出て行った。彼は、キリストの再臨に人々を備えるための神聖な真理を示すようにこの最終時代に生存する、神から委託された者たちの代表者である。ヨハネは改革者であった。天使ガブリエルは直接天から遣わされてヨハネの父母に健康改革に関する教えを与え、ヨハネが酒や強い飲料を飲んではならない事、また、誕生の時から聖霊で満たされるということを話した。」（食事と食物に関する勧告 65）

b. ヨハネの衣服とエリヤの衣服を比較しなさい（マタイ 3:4; 列王記下 1:8）。これはわたしたちにとってどのような教訓がありますか。

「ヨハネの奇妙な恰好（かっこう）は聴衆の心に古代の預言者たちを思わせた。彼の態度と服装は預言者エリヤに似ていた。彼はエリヤの霊と力とをもって、国をあげての堕落を攻撃し、みなぎっている罪を責めた。彼のことばは率直で鋭く、罪をさとらせる力があった。多くの者は彼が死からよみがえった預言者の一人であると信じた。全国民はわきたった。群衆が荒野へむらがり集まった。」（各時代の希望上巻 105, 106）

「ピューリタンの質素と単純は、現代の厳粛な真理を信じるすべての人の住まいと衣服を特徴づけるべきである。」（教会への証 5 巻 189）

3. 誇り、虚栄、浪費の余地はない

a. 世俗的な事柄に対してわたしたちの態度はどうあるべきですか（ヨハネ第一 2:15–17）。衣服改革の背後にある基本的な原則は何ですか。またその目的は何ですか（テモテ第一 2:9, 10; 民数記 15:38–40）。

「イスラエルの子らは、エジプトから導き出された後に、周囲の国家から彼らを区別するため、そして神の特別な民であることを示すために、衣のふちに青いひもをつけることが命じられた。神の民は今、特別なしるしを自分たちの衣につけることを要求されてはいない。しかし、新約でわたしたちにしばしば模範として昔のイスラエルが言及されている。もし神がご自分のいにしえの民にその衣服に関してこのように明白な指示を与えられたとすれば、神の民の衣服はこの時代においてもこのお方の注目の下にないであろうか。神の民の衣服において、世の衣服とはっきり区別があるべきではないだろうか。神の民、すなわち神の特別な宝は、自分たちの衣服においても神に栄光を帰すことを求めるべきではないだろうか。そして彼らは衣服において模範となり、彼らの単純な様式によって、世俗的で娯楽を愛する公言者たちの誇り、虚栄、浪費を譴責すべきではないだろうか。神はご自分の民にこれを要求なさる。誇りはこのお方のみ言葉のうちで譴責されている。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1900 年 1 月 23 日）

b. 神の民が神を捨てるとき、しばしば何が起こりますか。そしてこれらの兄弟姉妹たちに対して、わたしたちの義務は何ですか（箴言 28:4; ローマ 1:32）。

「大いなる純潔を主張しながらも世俗と一致している人々が、常に真理の運動に反対していた人々と合同するように訴えるときに、われわれは彼らを恐れ、ネヘミヤのように断固として回避しなければならない。このような勧告は、あらゆる善いものの敵の煽動によるものである。それは日和見主義者の言葉であるから、当時と同様今日においても、はっきり拒否しなければならない。神の指導力についての民の信仰を覆す影響力は、何であっても厳として抵抗しなければならない。」（国と指導者下巻 260, 261）

「背教が一般信徒の間に入りこむ時、すなわち自分の聖なる指導者との歩みを保っているべき人々によって心から敬神が締め出される時がある。神の民が自分たちの力の源から離れ、誇り、虚栄、浪費、そして誇示が続く。内側の偶像があり、外側の偶像がある。しかし、神は罪の譴責者として慰め主をお送りになる。それはご自分の民がその背教について警告を受け、その背信のために譴責を受けることができるためである。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ教育 95）

4. 標準を高く掲げる

a. 今日、わたしたちはどのように真理の標準を掲げることができますか（ペテロ第二 1:10–12; テモテ第二 2:15; ローマ 12:9）。

「教会に連なる人はみな、聖なる事柄への敬神を示す品性の変化を表すべきである。彼らの全生活は、キリスト・イエスの洗練に従って形作られるべきである。教会に連なる人は自分たちが不注意な点について、そして彼らが変わることができ、変わらなければならない点について指示を受けるくらい謙遜でなければならない。彼らはクリスチャンの感化を及ぼさなければならない。言葉やふるまい、衣服や家庭において変化のない人々は、キリストにではなく、自分に生きているのである。彼らはキリスト・イエスにあって新しく創造されておらず、心と外側を囲んでいるものとが清められていない。」（南アフリカへの証 87）

「わたしは全ての教会、全ての家庭に改革の必要があることを述べるよう命じられている。わたしたちには娯楽愛好に費やす時間はなく、人間の顔の絵を買うために投資する資金はない。あなたの資金を神のみ事業に投資しなさい。あなたの模範を注意深く守りなさい。すべての魂にとって神を愛し、畏れ、このお方のご命令に従うことは最大の重要性を持っている。わたしたちはみな神の御国の律法をもっとよく知るようになる必要がある。さもなければ永遠の生命保証書〔ペテロ第二 1:10-12〕を失い、神の都への入り口を見出すことに失敗するのである。」（原稿ﾘﾘｰｽ 21 巻 409）

b. わたしたちの標準は何に基礎をおいているべきですか（イザヤ 59:19; 8:20; 伝道の書 12:13）。

神はこの地上に、聖書、そしてただ聖書だけをすべての教理の基準、すべての改革の基礎として保持する一つの民を、お持ちになるであろう。学識者の意見、科学の推論、教会会議の定めた信条や決議（これらは、教会の数が多くてその主張も違うように、おびただしい数にのぼって内容も千差万別である）、大衆の声、―これらのうちの一つであれ全部であれ、それをもって信仰上の事柄に関する賛否の根拠と見なしてはならない。どんな教理や戒めでも、それを受け入れる前に、『主はこう言われる』という明日な事実をその裏づけとして要求すべきである。」（各時代の大争闘下巻 360, 361）

木曜日 *3月10日*

5.　　メッセージに力を加える

a.　いつ、聖霊は真理の最後のメッセージを促進させるために働くことがおできになりますか（使徒行伝 2:1, 4; 黙示録 2:26）。

「怠惰と無精の恥辱が教会から拭い去られるとき、主の御霊は恵み深くあらわされる。神聖な力が明らかにされる。教会は万軍の主の摂理的な働きを見るようになる。真理の光が、使徒たちの時代の時のようにはっきりと強い光線で輝き出るようになり、多くの魂が誤謬から真理へと戻ってくる地は主の栄光によって明るくされる。」（教会への証 9 巻 46）

b.　いつ、わたしたちは神の力が驚くべき方法で病人をいやすために表わされることを期待できますか（マタイ 17:19–21; コリント第一 10:31; 9:27）。

「あなたは『そうであれば、なぜ働きを制して、キリストのように病人をいやさないのか』というかもしれない。わたしは次のように答える、あなたはまだ用意ができていない。ある者は信じた。ある者は癒された。しかし、不節制に食し、他の悪い習慣にふけることによって自ら病気になった人々が多くいる。彼らが病気になったとき、わたしたちは彼らが起きあがって、また同じことをし続けることができるようにと祈るのであろうか。わたしたちの隊列中に改革がなくてならない。民は病人の癒しのために顕著な方法で神の力があらわされることを期待できる前に、より高い標準に達していなければならない。」（医事伝道 15, 16）

金曜日 *3月11日*

個人的な復習問題

1. **へつらいとは何ですか。なぜクリスチャンはそれを用いるべきではないのですか。**
2. **ヨハネは当時、蔓延していた不節制をどのように譴責しましたか。それはわたしたちにとって何を意味しますか。**
3. **誇り、虚栄、浪費を表す人々に何が起こりましたか。**
4. **わたしたちはキリストにある新しい人に創造されたことをどのように表しますか。**
5. **力をもってメッセージが前進するために、わたしたちはどのように生きる必要がありますか。**

改革の働き

「彼らはいにしえの荒れた所を建てなおし、さきに荒れすたれた所を興し、荒れた町々を新たにし、世々すたれた所を再び建てる。」（イザヤ 61:4）

「キリストは間違った場所におかれ、誤謬の事業のために使われていた数々の真理を正しく調整するために来られた。このお方はそれらを思い起こさせ、それらを繰り返し、真理の枠組みの中でしかるべき位置に収められた。そしてそれらに永遠に固く立つようお命じになった。このように神の律法、安息日と結婚制度も同様であった。」（原稿ﾘﾘｰｽ 17 巻 21）

推奨文献：　ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 366–380

日曜日　*3 月 13 日*

1.　安息日—神の律法における破れ

a.　神の律法における破れを繕うことに、どのような意義がありますか（イザヤ 58:12; 列王記上 18:30; ネヘミヤ 2:17）。

「終末時代に 、神のすべての制度が回復される。人間が安息日を変更したときにできた、律法の破れが回復される。神の残りの民は改革者として世の前に立ち、神の律法がすべての永続的改革の基礎であって、第四条の安息日は創造の記念であり、常に神の力を思い起こさせるものであることを、示さなければならない。彼らは明白な言葉で、十誡のすべての戒めに服従する必要を示さなければならない。」（国と指導者下巻 277, 278）

「安息日の戒めは十誡の真ん中におかれている。そしてそれは神が結婚関係を制定されたのと同じ時に、エデンで制定されたのであった。神は安息日をご自分の創造の力と御業の記念としてお与えになった。……このお方はその遵守を人に課された義務とし、人が神のみわざを熟考し、このお方のいつくしみ深さ、憐れみ、愛をじっくり考え、自然を通して神のご性質を見ることができるようにされた。もし人がつねに安息日を守ってきたなら、この世には不信者も異教徒も無神論者も決して起こらなかったであろう。」(ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1896 年 2 月 13 日)

2. 結婚と家族単位

a. 結婚に関して、何が神の本来のご計画でしたか（創世記 2:24; マタイ 19:4–6）。

「パリサイ人が離婚の合法性について質問したとき、イエスは創造において制定されたものとして、結婚の制度に彼らの注意を向けられた。『モーセはあなたがたの心がかたくななので、妻を出すことを許したのだが、初めからそうではなかった』とイエスは言われた（マタイ 19:8）。イエスは、すべてのものが『はなはだ良かった』と神が仰せられ、祝福されたエデンの園の時代に彼らを注目させられた。神の栄光と人間の幸福のための二つの制度、すなわち結婚と安息日の起源がここにあった。その時、創造主は、聖なる二人に結婚のちぎりを結ばせて、『人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである』と仰せになった（創世記 2:24）。創造主は世の終わりに至るまでのすべてのアダムの子らのために、結婚の律法を宣言された。永遠の父なる神ご自身がよしと宣言されたのは、人間にとって最高の祝福と発達の律法であった。」（ｱﾄﾞﾍﾞﾝﾁｽﾄ・ﾎｰﾑ 383）

「結婚は創造以来から存在し、神によって制定された聖なる定めである。結婚制度はエデンで制定された。第四条の安息日は、世界の基礎が敷かれたとき、明けの明星が相共に歌ったとき、そして神の子らがみな喜び呼ばわったときに、エデンで制定された。そうであれば、この神の結婚制度があなたがたの前に第四条の戒めと同様に固く立つようにしなさい。」（原稿ﾘﾘｰｽ 1 巻 160, 161）

b. 聖なる結婚制度も家族の関係も終わりの時代にどのように回復されますか（マラキ 4:5, 6; マタイ 17:11; 使徒行伝 3:20, 21）。

「エデンで制定され、堕落の時に失われなかった二つの制度がある―安息日と結婚関係―である。これらはパラダイスの門の向こうへ人によって携え行かれた。安息日を愛して守り、結婚制度の純潔さを維持する人は、そうすることによって自分が人の友であり、神の友であることを証明している。教えと模範によってこれらの聖なる制度の義務を減じる人は神と人の敵であり、自分の感化力と神が与えてくださったタラントを混乱と堕落の状態へ導くために用いているのである。」（ｻｲﾝｽﾞ・ｵﾌﾞ・ﾀｲﾑｽﾞ 1884 年 2 月 28 日）

3. 食事において節制を実践する

a. イエスの間もない再臨を準備する人々は、どのような種類の生活様式を維持すべきですか（コリント第一 9:25; 10:31; ルカ 4:2–4）。

「バプテスマのヨハネはエリヤの霊と力のうちに、主の道を備え、民を義人の知恵に向き直らせるために出ていった。彼はキリストの再臨の道を備えるために民の前に提示するべき聖なる真理を神がお委ねになった終わりの時代に生存している人々の象徴であった。そしてヨハネが実践した同じ節制の諸原則を、わたしたちの時代に人の子の来臨について世に警告すべき人々も守るべきである。」（ｸﾘｽﾁｬﾝ節制と聖書の衛生 39）

「わたしたちの最初の父祖は食欲の放縦によってエデンを失ったのであるから、エデンを再び得る希望は、食欲と情欲の確固たる否定を通してである。食事における節制とすべての情欲の支配は知性を守り、精神的また道徳的活力を与えて、人が全ての傾向をより高い力の支配の下へ置くこと、また正しいことと悪いこと、聖なるものと俗なるものの区別ができるようにする。」（教会への証 3 巻 491）

b. どのような種類の食事が本来アダムに与えられていましたか（創世記 1:29; 3:18）。

「人間の食事に対する神の最初の計画を研究しなければならない。人間を創造し、その必要を理解しておられる神がアダムの食物を定めて『わたしは……たねをもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなたがたに与える。これはあなたがたの食物となるであろう』と言われた（創世記創世記 1:29）。罪ののろいを受け、土地を耕して生活するためエデンを去るとき、人間は『野の草』（創世記 3:18）をも食する許可をうけた。

穀類、果実、堅果類、野菜がわたしたちのために創造主のお選びになった食物である。こうした食物をできるだけ単純に自然のまま調理したものが最も健康的で栄養がある。それはさらに複雑な刺激的な食物によっては得られない力と耐久力と知能の力を与える。」（ﾐﾆｽﾄﾘｰ・ｵﾌﾞ・ﾋｰﾘﾝｸﾞ 273, 274）

c. 食事に関するどの態度が、霊的な経験にとって有害ですか（イザヤ 22:13, 14）。

4.　心の変化

a.　神がわたしたち一人びとりと共に回復の働きを始めることがおできになる前に、何がまず行われなければなりませんか（箴言 28:13; 詩篇 32:5; ヨハネ第一 1:9）。

「もしわたしたちが主に対して罪を犯したなら、完全な告白と、自分たちが怠慢であったまさにその部分に関して回復がない限り、平安とこのお方の恩寵への回復は決してない。わたしたちが自分の力の及ぶ限り、悪を修復するためにあらゆる手段を用いるまでは、神はわたしたちを是認し、祝福することはおできにならない。告白の道は屈辱的であるが、わたしたちが勝利するための力を受けるのはただこの方法によってのみである。落とした網目のすべてを拾い集めて、わたしたちの働きが完全なあるべき姿に神の喜ばれるものとなることは決してできないが、それでもできる限りそれを成し遂げるためになすべき努力はすべて払われるべきである。」(ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 5 月 22 日)

b.　神に仕えたいと願う人々の心に、何をしてくださると神は約束されましたか（エゼキエル 36:26）。

c.　改心したクリスチャンにとって、真理はどのようにすっかり心を奪うものですか（ローマ 10:10; マルコ 12:30）。絶えざる祈りは何になりますか（ 詩篇 139:23, 24）。

「真理は受け入れる人にとって真理が、真理そのものとならなければならない。それは心に印されなければならない。……心は存在の要塞であり、それが完全に主の側にない限り、敵は絶えずその巧妙な誘惑を通してわたしたちに対する勝利を得ることになる。」（天国で 140）

「主は心をご覧になる。『そして、神のみまえには、あらわでない被造物はひとつもなく、すべてのものは、神の目には裸であり、あらわにされているのである。この神に対して、わたしたちは言い開きをしなくてはならない』（ヘブル 4:13）。このお方は内側の部分において真理以外の何かで満足されるであろうか。すべての真に改心した魂は、肉の思いが征服されているという間違いのないしるしを帯びるようになる。」（教会への証 1 巻 163）

木曜日 *3月17日*

5.　　永続的なメッセージ

a.　真理のメッセージに関して、義人は悪人と対照的にどのようにみなしますか（箴言 4:19, 18; ペテロ第二 3:18）。

「聖化された魂は無知のままで満足せず、光のうちに歩むことを願って、ますます大きな光を求める。鉱山労働者が金銀を求めて掘るように、キリストに従う者は隠された宝のように真理を求め、光からより大きな光へと前進し、常に知識を増し加えていく。彼は絶えず恵みと真理の知識において成長する。自己は克服されなければならない。すべての品性の欠点は神の偉大な鏡の中で識別されなければならない。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1巻 317）

b.　真理はどれくらいの間、もちこたえますか（詩篇 100:5; 117:2; 箴言 12:19）。改革の働きはどれくらいの間、続きますか。

「宗教改革は、多くの人が考えているように、ルターをもって終わったのではない。それはこの世の歴史が終わるまで続けられるのである。ルターは、神が彼の上に照らしたもうた光を他の人々に反射するのに大きな働きをなすべきだったが、しかし世に与えるべき光の全部を彼が受けたのではなかった。当時から今日まで、新しい光がたえず聖書を照らし、新しい真理がたえまなく示されてきた。」（生き残る人々 398）

金曜日 *3月18日*

個人的な復習問題

1. **安息日が人類に与えられたとき、その目的は何でしたか。**
2. **人々が神の安息日と結婚に対する神のご計画を無視するとき、社会に何が起こりますか。**
3. **節制、もしくは節制の欠如は、わたしたちの選択にどのような影響を及ぼしますか。**
4. **わたしたちは誘惑されるたびにいつも失敗しているとすれば、自分の心の状態について何を自覚すべきですか。**
5. **もし真に聖化しているならば、光、すなわち知識に対して、わたしたちの態度はどのようになりますか。**

教会の召し

「門を通って行け、通って行け。民の道を備えよ。土を盛り、土を盛って大路を設けよ。石を取りのけ。もろもろの民の上に旗をあげよ。」（イザヤ 62:10）

「次の句を岩の上に鉄の筆で記すように良心の上に書き付けなさい。すなわち、真の成功は、この生涯でも来たるべき生涯でも、正しいことの永遠の諸原則を忠実に固守することによってのみ獲得できるのである。」（教会への証 7 巻 164）

推奨文献：　伝道 217–221

日曜日　3 月 20 日

1.　わたしたちのためのメッセージ

a.　わたしたちが真の証人のラオデキヤへのメッセージを自分自身に当てはめることがなぜ重要なのですか（黙示録 3:14–17; コリント第一 8:2; 10:12）。

「ラオデキヤ教会へのメッセージはそれを自分自身に当てはめない人々を深く刺す。」（著者と編集者への勧告 99）

b.　ラオデキヤ状態に希望がないわけではないことを何が示していますか（黙示録 3:18）。わたしたちはどの治療を適用すべきですか（ペテロ第一 5:6; 詩篇 147:11）。

「真の証人の勧告は生ぬるい人々を希望のないものとしては表していない。そこにはなお彼らの状態を癒す機会があり、ラオデキヤのメッセージは励ましに満ちている。なぜなら、背信の教会はなお、信仰と愛の金を買うことができ、キリストの義の白い衣を持つことができ、自分たちの裸の恥は表れる必要がないからである。心の純潔、動機の純潔は、まだ二心な者で神と富とに兼ね仕えようとしている人々を特徴づけることができる。彼らはまだ品性の衣を洗い、小羊の血でそれらを白くすることができる。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ［E・G・ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ］7 巻 966）

2. 警鐘

a. 世に対する最終的なメッセージの宣布に参加することができるために、わたしたちは何をしなければなりませんか（コリント第一 15:34; ローマ 13:11）。

「わたしたちはこの地上歴史の最後の場面に生存している。預言は速やかに成就している。恩恵期間が速やかに過ぎ去っている。わたしたちには―一瞬たりとも―失うべき時間はない。見張りが眠っているところを見られないようにしよう。だれも心の中やそのわざによって、『わたしの主人の戻られるのは遅い』と言うことがないようにしよう。間もないキリストの来臨のメッセージが真剣な警告の言葉のうちに響き渡るようにしよう。至る所で、悔い改めて来たるべき怒りから逃れるように男女を説得しよう。彼らを目覚めさせてただちに準備させよう。なぜなら、わたしたちは自分の前に何があるかをほとんど知らないからである。牧師も信徒も実った畑へ出ていき、気づいていない人や無関心な人々に主にお会いできるうちに求めなさいと告げよう。働き人は、忘れられた聖書の真理を自分が宣布するところではどこででも収穫を見出すであろう。彼らは真理を受け入れ、魂をキリストに勝ち取るために自分の生涯を捧げる人々を見出すであろう。」（教会への証 8 巻 252, 253）

b. この時代に、どの働きを進めなければなりませんか（ネヘミヤ 2:18; 詩篇 94:16）。

「主はご自分の民が目覚めて自分が任命された働きをなすよう望んでおられる。世を警告する責任は牧会だけに負わされているのではない。教会の信徒たちも魂の救いの働きにあずかるべきである。伝道訪問という手段によって、わたしたちの文書の賢明な配布によって、一度も警告を受けたことのない多くの人々に伝えることができる。魂を探し出すためにグループを組織しなさい。教会員は近隣を訪問し、彼らに聖書を開くようにしなさい。ある人々は垣根で働くように配置することができる。こうして賢明な計画によって、真理をあらゆる地方で宣布することができる。この働きを辛抱強く行うことにより、それに対する能力が増し加わるようになり、多くの人々が魂の救いにおける自分たちの働きの実を見るようになる。これらの改心した人々が、今度は他の人々を教えるようになる。こうして種は多くの場所でまかれるようになり、真理が全ての人に宣布されるのである。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1912 年 1 月 25 日）

「わたしたちには、今与えることのできる警告、今できる仕事がある。しかしまもなく、それはわたしたちの想像以上に難しくなるであろう。」（伝道 218）

3. 枯れた骨をよみがえらせる

a. 枯れた骨の谷についてエゼキエルに与えられた幻の中で、神はその枯れた骨に関して何を約束されましたか（エゼキエル 37:5, 6）。骨に命を与えた力の源は何でしたか（13, 14 節）。

「氷のような心、すなわち律法的な宗教しかもっていない心が自分たちのために備えられたもっと良いもの―キリストとこのお方の義―を見るために、わたしたちは神からどの力を得なければならないであろうか！命を与えるメッセージが枯れた骨に命を与えるために必要とされていた。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 3 巻 177）

「しかし、この枯れた骨の比喩は世に当てはまるだけではなく、大いなる光を持って祝福されてきた人々にもあてはまる。なぜなら、彼らもまた谷の骸骨のようだからである。彼らは人のかたち、すなわち体の枠組みは持っているが、霊的命がない。しかし、譬は枯れた骨が単に互いに相連なり人のかたちを作るだけで放ってはおかなかった。なぜなら、四肢や肢体の均整がとれているだけでは十分ではないからである。命の息が体に命を与え、それらがまっすぐに立ち、行動へ移ることができるようにしなければならない。これらの骨はイスラエルの家、神の教会を表している。そして教会の希望は聖霊の命を与える感化力である。彼らが生きることができるように、主が枯れた骨に息を吹きかけて下さらなければならない。」（SDA ﾊﾞｲﾌﾞﾙ・ｺﾒﾝﾀﾘ［E・G・ﾎﾜｲﾄ・ｺﾒﾝﾄ］4 巻 1165, 1166）

b. リバイバルの働きには何が含まれていますか（黙示録 3:19, 20; テモテ第二 4:2）。

「神の御使たちは教会から教会へと巡り、自分たちの義務を果たしている。そしてイエス・キリストは入ろうとしてあなたの心の戸をたたいておられる。しかし、神が教会の霊的な欠乏を自覚させるために考案された手段は留意されてこなかった。真の証人の声は譴責のうちに聞こえてきたが、それに従ってこなかった。人々は神の道の代わりに自分自身の道に従うことを選んだ。なぜなら、彼らのうちで自己が十字架につけられていなかったからである。こうして光はあったが、心と思いにほとんど効果を及ぼしてこなかった。『熱心になって、悔い改めなさい』。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1888 年 12 月 18 日）

「世に対するメッセージを担っている人々は主を熱心に求めるべきである。それはこのお方の聖霊が豊かに彼らに降り注がれるためである。あなたには無駄にする時間はない。神の力を求めて祈りなさい。あなたが遠近の人々のための働きに成功できるためである。」（ｾﾚｸﾃｯﾄﾞ・ﾒｯｾｰｼﾞ 1 巻 92, 93）

4. キリストを掲げる

a. 神のよみがえらされた使命者たちの注意を奪う一事とは何ですか（詩篇 17:15; ヨハネ 17:3; コリント第一 2:1, 2）。

「家庭、教会、そして近隣における深く熱烈な敬神によって、魂は律法のくすしきことを見るように導かれ、キリストわれらの義の栄光に満ちた真理を認めるようになる。……

この時代のための真理が目の前に開かれた人々には厳粛な責任が負わされている。彼らは神に対する悔い改めとわたしたちの主イエス・キリストに対する信仰を宣布しなければならない。彼らはキリストの十字架を熟考し、世の罪を取り除く神の小羊にすべての魂の注意を引かなければならない。自己否定におけるキリスト、へりくだりにおけるキリスト、純潔と聖潔におけるキリスト、比類のない愛におけるキリスト—これがわたしたちのすべての説教の中で明らかにされる必要のある主題である。わたしは神の民の間で大いなる目覚めがなくてはならないことを示された。名が教会の名簿にある多くの人々が改心していない。これらの言葉が働きに献身している人々によって繰り返されるようにしなさい。〔ヨハネ 3:16 引用〕。」（ﾚﾋﾞｭｰ・ｱﾝﾄﾞ・ﾍﾗﾙﾄﾞ 1889 年 8 月 13 日）

「一つの関心が行き渡る。一つの主題が他のすべてを飲み尽くす。キリストわれらの義である。」（ﾎﾟｰﾙｿﾝ・ｺﾚｸｼｮﾝ 342）

b. よみがえらされた主の僕は、警告のメッセージに対する反対にもかかわらず、どのように反応しますか（ヨエル 2:17; ローマ 12:12; エペソ 6:18）。

「神はいつも神の民が最大の窮地、すなわち破滅を避ける希望がほとんどないように見えるときに、彼らのために働いてこられた。邪悪な者、教会の敵の計画は、このお方の力とすべてを支配するみ摂理の支配下にある。このお方は議員たちの心を動かすことがおできになる。不穏な不平を持つ者の怒り、また神とその真理とその民を憎む者たちを、もしこのお方がお命じになればちょうど川の水の向きを変えるように、かわすことができる。祈りは全能者のみ腕を動かす。諸天に数々の星を先導し、み言葉をもって大海の波を支配されるお方、その同じ無限の創造主が、もし神の民がご自分に信仰をもって呼び求めるならば、彼らのために働いてくださる。このお方は警告が世界に伝えられるまで闇の勢力を引き留めて下さる。そしてそれに注意を払う人々はみな争闘のために準備ができるのである。」（教会への証 5 巻 452, 453）

木曜日　3月24日

5.　祝福された希望を待ち望んで

a.　わたしたちは間もないキリストの再臨に対する準備において、どのような大きな特権を持っていますか（ルカ 8:16; イザヤ 60:1）。

「神の恵みの富、はかり知ることのできないキリストの富を世界に伝えるための神の生きた通路になるという特権は、だれにでも与えられている。キリストは、他の何ものにもまして、キリストのみ霊と品性とを世界に代表する器があらわれるのを望んでおられる。人間によって救い主の愛があらわされることほど、世界が求めているものはない。人の心に喜びと祝福を与える清い油を注ぐことができる管を、全天は待っているのである。」（キリストの実物教訓 395）

b.　キリストの間もない来臨を考えるとき、わたしたちは今日どのように生きるべきですか（ペテロ第二 3:11, 12; テトス 2:11–13）。

「教会が世の光であるイエスの光を受け、インマヌエルの栄光に輝き、全く変えられた体となることができるように、キリストはあらゆる準備をなさった。彼は、すべてのクリスチャンが光と平和の霊的ふんい気に包まれることを望んでおられる。そして、わたしたちがキリストご自身の喜びを、わたしたちの生活のなかにあらわすことを願っておられるのである。」（キリストの実物教訓 395）

「主は来られる。あなたの頭をもたげて喜びなさい。……これはよい知らせ、喜ばしい知らせであり、すべての魂に電撃を与える。これを家庭で繰り返し、街で会う人々に告げるべきである。伝えられる知らせの中でこれほど喜ばしいものがあるだろうか！」（伝道 218）

金曜日　3月25日

個人的な復習問題

1. **ラオデキヤのメッセージは、どのようにわたしたちに対する励ましに満ちていますか。**
2. **信徒たちが自分の周囲にいる人々に手を差し伸べることのできる実際的な方法をいくつか述べなさい。**
3. **枯れた骨の幻は、どのように大いなる光を持っている人々に当てはまることができますか。**
4. **神はご自分の民が信仰のうちに祈るとき、どのような方法で闇の諸勢力を支配なさいますか。**
5. **神の民はどのような方法で、この時代のための喜びのメッセージを広めますか。**

第一安息日献金

1月2日

ガーナの教会のために

（4 ページ参照）

2月6日

世界災害と福祉のために

（30 ページ参照）

3月5日

コロンビアにおける学校のために

（51 ページ参照）